

NEC プロジェクター

**ViewLight**<sup>®</sup>  
ビューライト

**NP-P502HLJD/NP-P502WLJD**

# 取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用前に必ずお読みください

- 1. 添付品や名称を確認する ● 1
- 2. 映像を投写する (基本操作) ● 2
- 3. 便利な機能 ● 3
- 4. オンスクリーンメニュー ● 4
- 5. 機器と接続する ● 5
- 6. APPS メニュー ● 6
- 7. ユーザ サポートウェア ● 7
- 8. 本体のお手入れ ● 8
- 9. 付録 ● 9

取扱説明書の最新版は、当社ホームページに掲載しています。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

# はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-P502HLJD を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-P502HLJD/NP-P502WLJD

- 機種名について

プロジェクター本体では、機種名を「NP-P502HL」または「NP-P502WL」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「JD」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## 警告

### 本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。  
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。  
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

### 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
    - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
    - ・ コードの上に重い物をのせない
    - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
    - い
    - ・ コードの上を敷物などで覆わない
    - ・ コードを傷つけない、加工しない
    - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
    - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

### 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

### 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
    - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
    - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
    - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
    - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などがいった場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば

# 警告

## 動作中にレンズの前に物を置かない



- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 内部に物を入れない



### 異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## キャビネットは絶対にあけない



### 分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電およびレーザー光がもれる原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

## プロジェクターのレンズをのぞかない



### レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊りなどの設置をしたときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

## 警告

### 清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

### ケーブルカバーについて（別売）



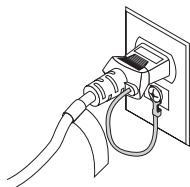
- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。確実に固定されていないと、ケーブルカバーが外れてけがをするおそれがあります。また、落下してケーブルカバーが破損する原因となります。



- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーを持つての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

## 注意

### 機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は [29 ページ](#) をご覧ください。

### お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

### ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。

# ⚠ 注意

## 移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

## 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間(目安として吸気口は 100mm 以上、排気口は 200mm 以上) あけてください。

## 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。

## 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 電源コードはコンセントに接続する



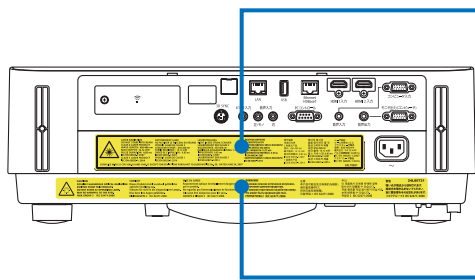
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

# 注意

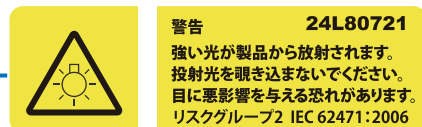
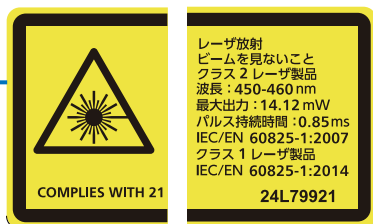
## 光源のレーザーモジュールについて

- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

本製品は、IEC 60825-1:2007 規格でクラス2 レーザー製品に、IEC 60825-1:2014 規格でクラス1 に分類されています。  
また IEC 62471:2006 規格ではリスクグループ2 に分類されています。



これらのレーザー製品の説明ラベルと警告ラベル、およびランプ製品の説明ラベルと警告ラベルは、プロジェクター本体の後面に貼付されています。



## 3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意



- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッターメガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - ・ 3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッターメガネを使用しないでください。
  - ・ スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
  - ・ 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがある場合は、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。



## お願い

### 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。  
故障の原因となります。
  - ・強い磁界が発生する場所
  - ・腐食性のガスが発生する場所
- 本機は、本体を左右方向に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。  
ただし、ポートレート設置\*は可能です。ポートレート設置のときは、吸気口が下側になるように設置してください。ポートレート設置上のご注意をご覧ください。  
\* 専用置台を製作し、本体に取り付ける必要があります。(▶103 ページ)



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(12時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。(▶80 ページ)
- 標高約1700m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品(光源など)の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・ レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
  - ・ プロジェクター本体に振動や強い衝撃を与えないでください。

- ・宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクトターの故障の原因となります。輸送の場合は、お買い求めの際の梱包状態に戻してから輸送してください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について  
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

## 本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

### ① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」に変更してください。

#### 注意

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。  
モニタ出力（コンピュータ）端子、音声出力端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI（Virtual Remote Tool）
- 「ネットワークスタンバイ」に設定していても、LAN が 3 分間リンクダウンすると、自動的に「ノーマル」に変わります。

詳しくは、[82 ページ](#)をご覧ください。

### ② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。

#### 注意

- 「1:00」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

## 無線 LAN ユニットの使用上のご注意

無線 LAN ユニットを使用する際は、次の点にご注意ください。

### 警告

- 無線 LAN ユニットは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されていませんので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。医療機器に電磁障害をおよぼし生命の危険があります。
- 無線 LAN ユニットの分解したり改造したりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 風呂場や加湿器のそばなどの水分や湿気の多い場所に置いたり使用したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

### ● 廃棄について

本製品を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 無線 LAN 製品で使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、  
ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報  
メールの内容  
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される  
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、  
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）  
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）  
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）  
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）  
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

## 電波に関する注意

- 添付の無線 LAN ユニット (以降「本ユニット」と省略します) は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本ユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本ユニットは、日本国内でのみ使用できます。
- 本ユニットは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・ 分解／改造すること。
  - ・ 本ユニットに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本ユニットは、IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz 帯域[W52] および[W53] の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。
  - ・ 本ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - ・ 万一本ユニットと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本ユニットの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
  - ・ その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (☎裏表紙) にお問い合わせください。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

<b>2.4</b>	<b>DS/OF</b>	<b>4</b>
------------	--------------	----------

<b>IEEE802.11a/n</b>		
<b>W52</b>	<b>W53</b>	<b>W56</b>






- 2.4** : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。
- DS/OF** : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す。
- 4** : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

## 無線 LAN に関するその他のご注意

- 無線 LAN をご使用の際は、電波強度が十分であるか、混雑や他の無線機器等との混信がない状態であるかを確認してください。

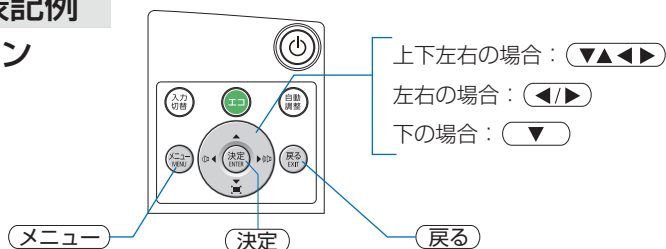
# 本書の表記について

## マークの意味

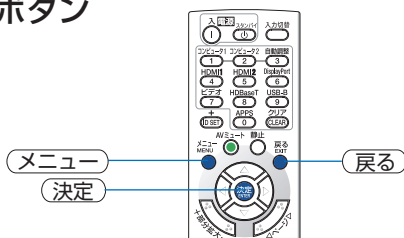
 <b>重要</b>	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
 <b>注意</b>	注意や制限事項を表しています。
 <b>参考</b>	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
 <b>適応機種</b>	特定の機種についての説明を表しています。

## 操作ボタンの表記例

### ●本体の操作ボタン



### ●リモコンの操作ボタン



## メニュー項目の表記例

「セキュリティ」



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

# 目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	9
無線 LAN ユニットの使用上のご注意	11
本書の表記について	13
目次	14
<b>1. 添付品や名称を確認する</b>	<b>16</b>
1-1. 特長	16
1-2. 添付品の確認	18
1-3. 本体各部の名称	20
1-4. リモコン各部の名称	24
<b>2. 映像を投写する（基本操作）</b>	<b>28</b>
2-1. 映像を投写する流れ	28
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する	29
2-3. 本機の電源を入れる	30
2-4. 入力信号を選択する	32
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	35
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	40
2-7. コンピュータの映像を自動調整する	42
2-8. 本機の音量を調整する	43
2-9. 本機の電源を切る	44
2-10. 移動するときは	45
<b>3. 便利な機能</b>	<b>46</b>
3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	46
3-2. 動画を静止画にする（静止）	46
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	47
3-4. エコモードと省エネ効果	48
3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する	50
3-6. 3D 映像を投写する	53
<b>4. オンスクリーンメニュー</b>	<b>57</b>
4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	57
4-2. オンスクリーンメニュー一覧	61
4-3. 入力端子	65
4-4. 調整	66
4-5. セットアップ	72
4-6. 情報	86
4-7. リセット	87

<b>5. 機器と接続する</b> .....	<b>88</b>
5-1. コンピュータと接続する .....	88
5-2. ディスプレイと接続する .....	91
5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する .....	93
5-4. 書画カメラと接続する .....	96
5-5. 有線 LAN と接続する .....	97
5-6. 無線 LAN と接続する .....	98
5-7. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する .....	101
5-8. ポートレート（縦向き）投写をする .....	103
<b>6. APPS メニュー</b> .....	<b>105</b>
6-1. APPS メニューでできること .....	105
<b>7. ユーザサポートウェア</b> .....	<b>109</b>
7-1. 添付ソフトウェアについて .....	109
7-2. LAN を経由して画像や動画を投写する (Image Express Utility Lite) .....	110
7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正) .....	116
7-4. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5) .....	119
7-5. LAN を経由して本機を操作する (Virtual Remote Tool) .....	124
7-6. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する (Wireless Image Utility) .....	130
<b>8. 本体のお手入れ</b> .....	<b>131</b>
8-1. レンズの清掃 .....	131
8-2. キャビネットの清掃 .....	132
<b>9. 付 録</b> .....	<b>133</b>
投写距離とスクリーンサイズ .....	133
対応解像度一覧 .....	140
仕様 .....	142
外観図 .....	145
ケーブルカバー（別売）の取り付けかた .....	147
主な端子のピン配列と信号名 .....	149
故障かな？と思ったら .....	151
インジケータ表示一覧 .....	156
本機内部のソフトウェアのアップデートを行う .....	158
トラブルチェックシート .....	160
索引 .....	162
別売品／商標について .....	164
保証と修理サービス（必ずお読みください） .....	165
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内 .....	裏表紙

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ■全般

#### ●1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	DMD パネル	解像度	アスペクト比
NP-P502HLJD	0.65 型	1920 x 1080 ドット	16:9
NP-P502WLJD	0.65 型	1280 x 800 ドット	16:10

### ■光源・輝度

#### ●長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

#### ●幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 16% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

#### ●輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じてレーザー光源の出力を自動調整し、輝度を維持できます。

### ■設置

#### ●チルトフリー、ポートレート投写

本機は、垂直方向 360° のどの角度でも設置が可能です。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写が行えます。

ただし、ポートレート投写以外で、本体を左右に傾けて設置することはできません。

#### ●投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を装備

投写画面の位置の移動は、本体の天面にある「垂直方向用」および「水平方向用」の 2 つのダイヤルを回して行います。

### ■映像

#### ●HDMI 2 系統、HDBaseT などの豊富な入力端子

HDMI 2 系統、コンピュータ（アナログ）、ビデオ、HDBaseT など、豊富な入力端子を装備しています。

本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

#### ●HDMI 3D 方式に対応

本機は、市販の Xpand 製 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネと 3D エミッターという装置を使って、3D 映像を視聴することができます。



## ■ ネットワーク

### ● ネットワークを活用できる APPS メニューを搭載

ビューワ、リモートデスクトップ接続、IMAGE EXPRESS UTILITY、Miracast、ネットワーク設定（有線 LAN / 無線 LAN）、プログラムタイマーなどの機能を備えた APPS メニューを搭載しています。

### ● 便利なユーティリティソフト（User Supportware）を標準添付

添付の NEC Projector CD-ROM に収録している 5 つのユーティリティソフト（Image Express Utility Lite（Windows 用 / OS X 用）、Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4（Windows 用）、PC Control Utility Pro 5（OS X 用））が使用できます。

### ● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

## ■ 省エネ

### ● スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットになります。

ノーマル：スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットのモード

ネットワークスタンバイ：スタンバイ時の消費電力が 2.1 ワットのモード

### ● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるためエコモードを搭載しています。

さらに、ライトモード設定時の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメータ）。

## 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

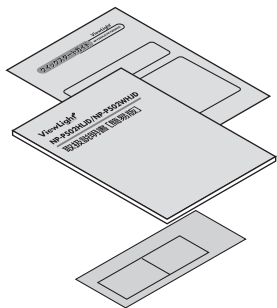
	<p><b>プロジェクター（本機）</b> コンピュータやDVDプレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>レンズキャップ</b> 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。 ご購入後は、添付のストラップを取り付けてください。 (▶ 20 ページ)</p>
	<p><b>リモコン（7N901131）</b> 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単4乾電池2本をセットしてください。(▶ 26 ページ)</p> <p><b>単4乾電池（リモコン用）2本</b> 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>電源コード（アース付き）（7N080123/7N080130）</b> AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p><b>コンピュータケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（7N520089）</b> コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(▶ 29, 88 ページ)</p>
	<p><b>レンズキャップ用ストラップ 1本</b> レンズキャップの紛失防止用です。</p>
	<p><b>無線 LAN ユニット（NP05LM3）</b> 本機を無線 LAN に接続するときに、USB ポート（無線 LAN 用）に接続します。(▶ 99 ページ) 工場出荷時は本体に取り付けています。</p>

次ページに続く



### NEC Projector CD-ROM (7N952243)

PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書 [詳細版] (本書) とユーティリティソフトを収録しています。  
[\(109 ページ\)](#)



### クイックスタートガイド (7N8N6222)

機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。

### 取扱説明書 [簡易版] (7N8N6212)

安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。

### 保証書

プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。

#### 参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面

### レンズシフトカバー

カバーを開けると、水平ダイヤルと垂直ダイヤルがあります。このダイヤルを回して投写画面の位置を調整します。  
(▶ 36, 37 ページ)

### ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。  
(▶ 38 ページ)

### レンズ

ここから映像が投写されます。

### フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます。  
(▶ 38 ページ)

### レンズキャップ

レンズを保護します。  
投写中は必ず外してください。

### 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

### スピーカ (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。  
(▶ 43 ページ)

### リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。  
本体の前面と背面の 2 箇所にあります。  
(▶ 26, 78 ページ)

### インジケータ

本機の動作状態を知らせます。  
(▶ 22, 156 ページ)

### 吸気口

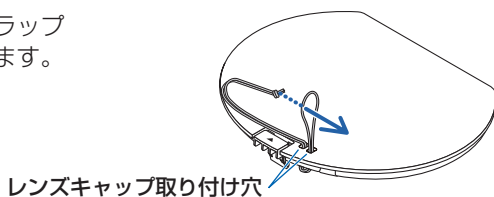
外気を取り込み本体内部を冷却します。  
(▶ 132 ページ)

### チルトフット (左右)

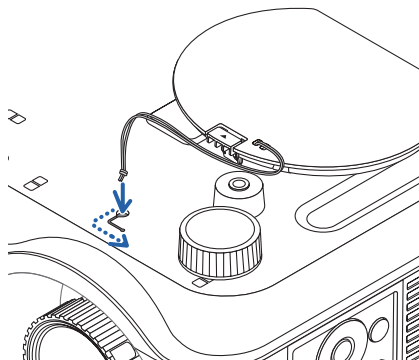
チルトフットを回して左右の傾きを調整します。  
(▶ 39 ページ)

## ● レンズキャップ用ストラップの取り付けかた

- 1 レンズキャップ取り付け穴にストラップの先端を差し込み、結び目を通します。



- 2 本体底面のストラップ取り付け穴 (大) に結び目を差し込み、狭い方 (小) の穴へ押し込む。



## 本体背面

### リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。  
(☞ 26 ページ)

### ケーブルカバーネジ穴 (左右)

別売のケーブルカバーを固定するネジ穴です。(☞ 147 ページ)

### 無線 LAN カバー /

### 無線 LAN ユニット

カバーの中に無線 LAN ユニートをセットしています (工場出荷時)。  
(☞ 99 ページ)

### 接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(☞ 23 ページ)

### AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。  
(☞ 29 ページ)

### 本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(☞ 22 ページ)

### 排気口

内部の熱を排気します。

### 盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。詳しくは下記の **参考** をご覧ください。

### セキュリティバー

セキュリティケーブル (またはワイヤー) を取り付けます。本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

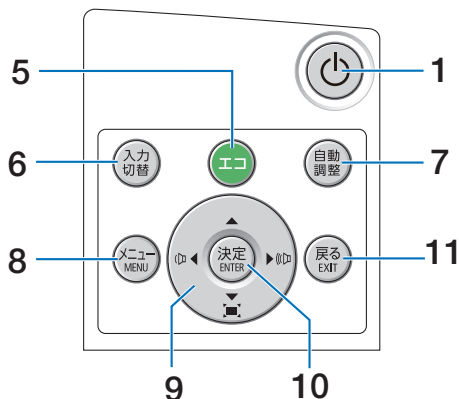
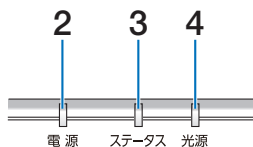
### 参考

- 盗難防止用ロックについて   
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 本体操作部



### 1 (電源) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (電源) ボタンを押します。

### 2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。  
([30](#), [156 ページ](#))

電源が切れている (スタンバイ状態) ときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

### 3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は消灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。  
([156 ページ](#))

### 4 光源インジケータ

光源の状態をお知らせします。  
([157 ページ](#))

### 5 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。  
([48 ページ](#))

### 6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。  
HDMI1 → HDMI2 → コンピュータ → ビデオ → HDBaseT → APPS → HDMI1... の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

### 7 (自動調整) ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。  
([42 ページ](#))

### 8 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。  
([57 ページ](#))

### 9 (上下左右) ボタン

(音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

- ・ オンスクリーンメニューを表示しているときに (上下左右) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。  
([57 ページ](#))

- ・ ([57 ページ](#))

- ・ オンスクリーンメニューを表示していないときに (左右) ボタンを押すと、音量を調整できます。  
([43 ページ](#))

- ・ オンスクリーンメニューを表示していないときに (上下) ボタンを押すと、上下方向および左右方向の台形補正調整画面を表示します。  
([40 ページ](#))

### 10 (決定) ボタン

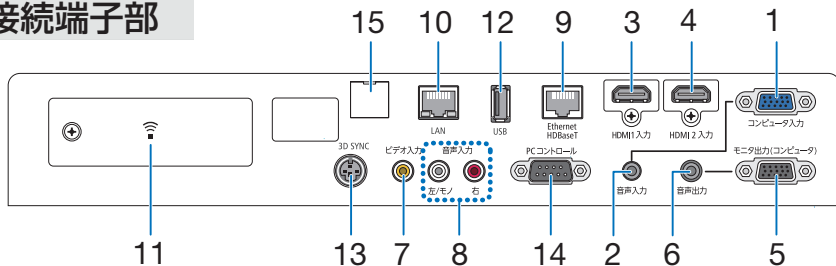
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

### 11 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 接続端子部



### 1 コンピュータ映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。  
([93 ページ](#))

### 2 コンピュータ音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。  
([88, 94 ページ](#))  
本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

### 3 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。  
([88, 90, 95 ページ](#))  
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

### 4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。  
([88, 90, 95 ページ](#))  
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

### 5 モニタ出力 (コンピュータ) 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータ映像入力端子の映像信号を出力します。  
([91 ページ](#))

### 6 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。  
([91 ページ](#))  
音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音が出なくなります。

### 7 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。  
([93, 96 ページ](#))

### 8 ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。  
([93 ページ](#))

### 9 Ethernet/HDMI BaseT ポート (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の WEB サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御したりファイルを共有したりすることができます。  
([97 ページ](#))  
また、本機を市販の HDMI BaseT 対応の伝送機器に接続します。  
([101 ページ](#))

### 10 LAN ポート (RJ-45)

Ethernet/HDMI BaseT ポートと LAN ポートは HDMI BaseT 機能以外は同じです。LAN との接続はどちらか 1 つのポートに接続できます。  
([97 ページ](#))  
ネットワークスタンバイ時に本機をネットワーク経由で制御する場合 LAN ポートへ接続してください。

### 11 USB (無線 LAN) ポート

カバーの中にあります。  
無線 LAN ユニットの介して LAN と無線で接続します。  
([98 ページ](#))

### 12 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリを接続します。  
USB メモリに画像データを保存すると本機のビューワで投写することができます。  
([106 ページ](#))  
市販の USB マウスを接続すると、APPS メニュー内の機能をマウスで操作できます。

### 13 3D SYNC (ミニ DIN-3 ピン)

3D 同期信号が必要な 3D 映像視聴システムに使用します。  
([55 ページ](#))

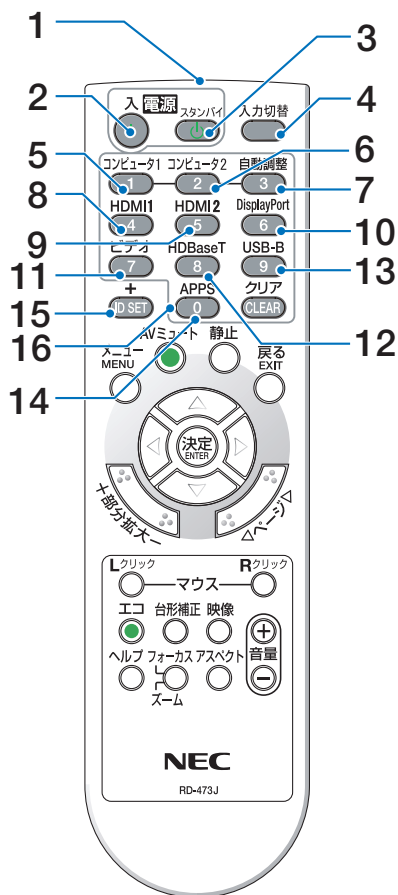
### 14 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

### 15 サービスマン専用端子 (USB) (タイプ B)

お客様は使用できません。

# 1-4. リモコン各部の名称



## 1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

## 2 電源(入)ボタン

スタンバイ時(電源インジケータが赤色※に点灯)に本機の電源を入れます。(※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

## 3 電源(スタンバイ)ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示し、もう一度(スタンバイ)(または(決定))ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

## 4 (入力切替)ボタン

入力信号を検出します。  
HDMI1 → HDMI2 → コンピュータ → ビデオ → HDBaseT → APPS → HDMI1… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

## 5 (コンピュータ1)ボタン

コンピュータ入力(またはコンポーネント)を選択します。

## 6 (コンピュータ2)ボタン

(本機では使用できません)

## 7 (自動調整)ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶ 42 ページ)

## 8 (HDMI 1)ボタン

HDMI 1 入力を選択します。

## 9 (HDMI 2)ボタン

HDMI 2 入力を選択します。

## 10 (DisplayPort)ボタン

(本機では使用できません)

## 11 (ビデオ)ボタン

ビデオ入力を選択します。

## 12 (HDBaseT)ボタン

HDBaseT ポートを選択します。

## 13 (USB-B)ボタン

(本機では使用できません)

## 14 (APPS)ボタン

APPS メニューを表示します。または、APPS メニューで前回使用していた機能を表示します。  
APPS メニューのアプリケーション動作中に押すとアプリケーションを一時停止状態にし、APPS メニューに戻ります。

## 15 (ID SET)ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(▶ 79 ページ)

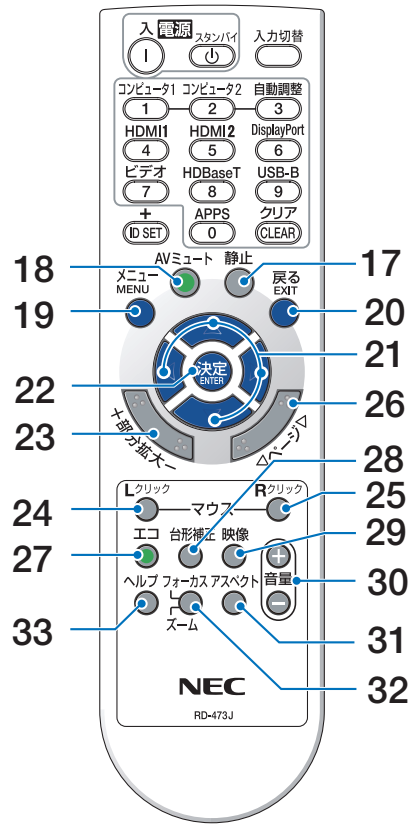
## 16 数字(0)~(9)入力ボタン

複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します(コントロール ID 設定)。

(CLEAR(クリア))ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。

(▶ 79 ページ)





## 17 (静止) ボタン

表示されている画像が静止画になります。もう一度押すと戻ります。(▶46 ページ)

## 18 (AVミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶46 ページ)

## 19 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 20 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 21 (◀▶▶▶) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大+/-)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。(▶57, 47 ページ)

## 22 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 23 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(▶47 ページ)

## 24 (マウスクリック) ボタン

(本機では使用できません)

## 25 (マウスRクリック) ボタン

(本機では使用できません)

## 26 (ページ ◀▶) ボタン

ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。

## 27 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。(▶48 ページ)

## 28 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。(▶40 ページ)

## 29 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(▶66, 68 ページ)

## 30 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

## 31 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。(▶70 ページ)

## 32 (フォーカス/ズーム) ボタン

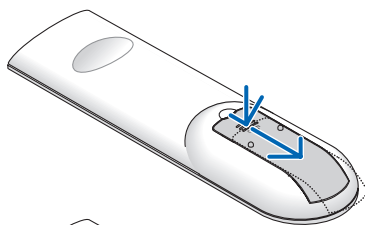
(本機では使用できません)

## 33 (ヘルプ) ボタン

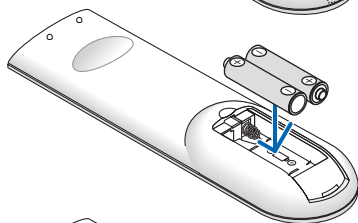
情報画面を表示します。(▶86 ページ)

## ●電池の入れかた

**1** リモコン裏面の電池ケースのふたを押し  
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

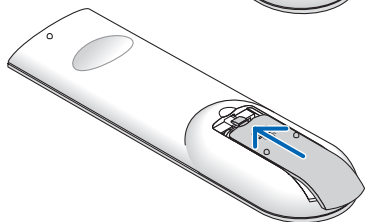


**2** ケース内部に表示している+、-の向き  
に合わせて単4乾電池をセットする。



**3** もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります  
ので、スライドさせて閉めてください。



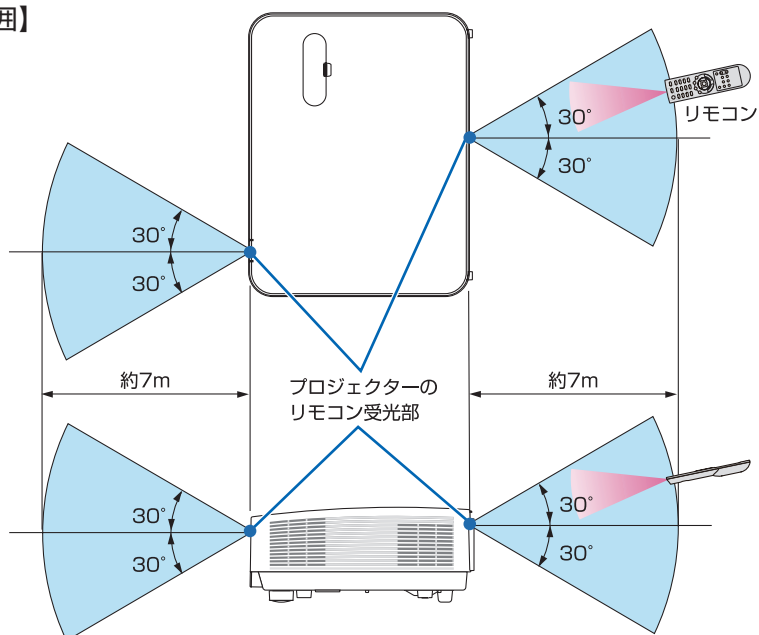
### 注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。  
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

### 【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いをしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。
- 別売のケーブルカバーを本体に取り付けているときは、後面のリモコン受光部は使用できません。

## 2. 映像を投写する（基本操作）

### 2-1. 映像を投写する流れ

#### ステップ 1

コンピュータと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



#### ステップ 2

本機の電源を入れる (▶30 ページ)



#### ステップ 3

入力信号を選択する (▶32 ページ)



#### ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶35 ページ)  
台形歪みを調整する (▶40 ページ)



#### ステップ 5

映像や音声を調整する  
・画質を調整する場合 (▶42 ページ)  
・本機の音量を調整する場合 (▶43 ページ)



#### ステップ 6

プレゼンテーションを行う



#### ステップ 7

本機の電源を切る (▶44 ページ)



#### ステップ 8

移動するときは (▶45 ページ)

## 2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

### 1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」88 ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

### 2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



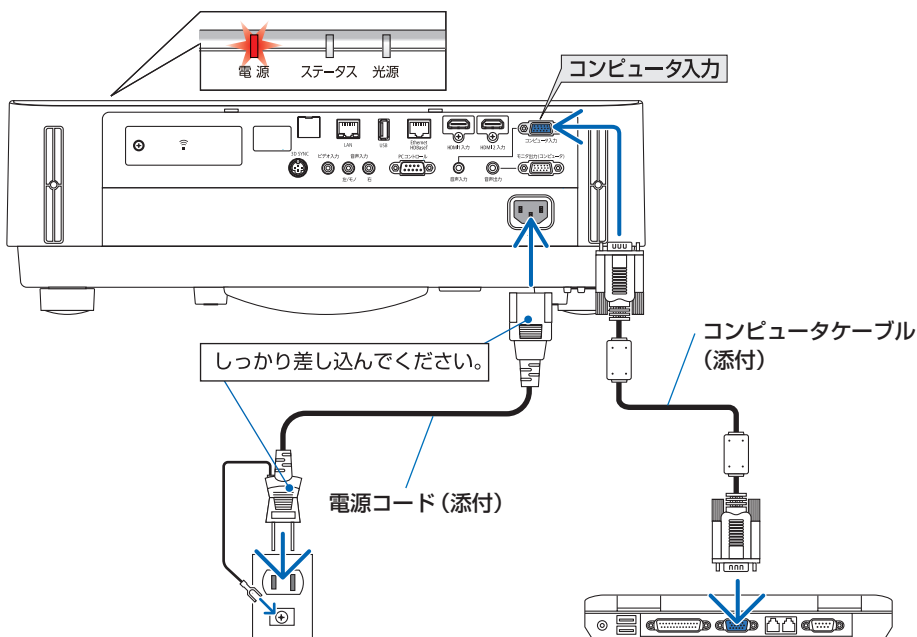
**注意**

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータが赤色\*に点灯します（スタンバイ状態）。

\* スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。

(82 ページ)



**注意**

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 2-3. 本機の電源を入れる

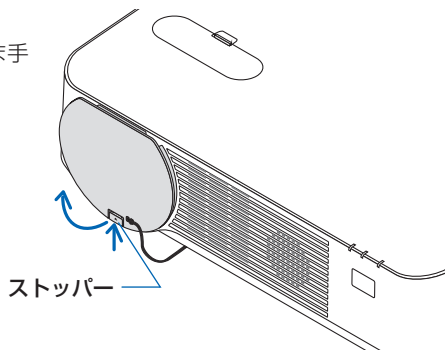


**警告**

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

### 1 レンズキャップを取り外す。

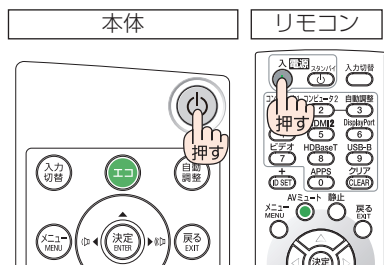
レンズキャップのストッパーを押し上げたまま手前に引いて外します。



### 2 電源ボタンを押す。

電源インジケータが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源 (入) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます(工場出荷時のメニュー設定時)。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。(▶ 38 ページ)



スタンバイ状態      準備中      オン状態



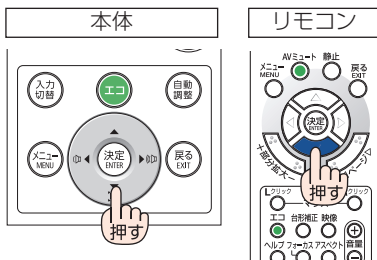
**参考**

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(▶ 51 ページ)
- 電源ボタンや(メニュー)ボタンなどを押すとピープ音を出します。ピープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。(▶ 81 ページ)

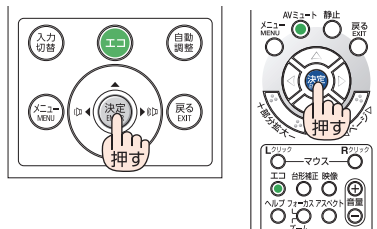
- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。



- 1 (▲▼◀▶) ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



- 2 (決定) ボタンを押す。  
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



### 注意

- 次のような場合は、(決定) ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - (決定) ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。  
 (▶ 77 ページ)
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは(決定) ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。

## 2-4. 入力信号を選択する

### 投写する信号を自動検出する

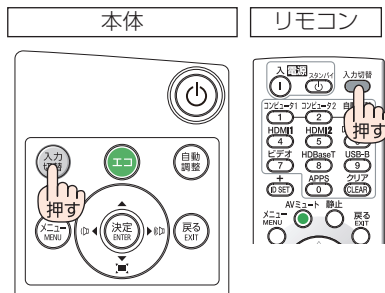
#### 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

#### 2 (入力切替) ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

- HDMI1 → HDMI2 → コンピュータ → ビデオ → HDBaseT → APPS の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



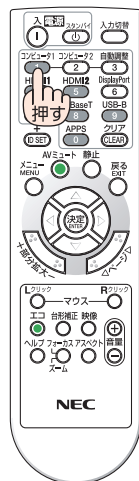
### リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

#### 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

#### 2 リモコンの (コンピュータ1)、(HDMI 1)、(HDMI 2)、(ビデオ)、(HDBaseT)、(APPS) ボタンを押す。

(コンピュータ1) ボタンはコンピュータ映像入力端子に切り替わります。





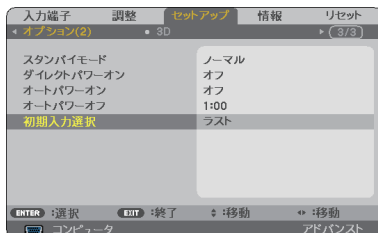
## 自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

### 1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「4-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (57 ページ)



### 2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



### 3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

### 4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータを接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号または HDMI 信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン）。  
 (🔗 83 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。  
 DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合  
 ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - ・ Windows の場合はファンクションキーを使います。  
 [Fn] キーを押したまま [L/R] などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。  
 通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
  - ・ Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力(モニタ出力) にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

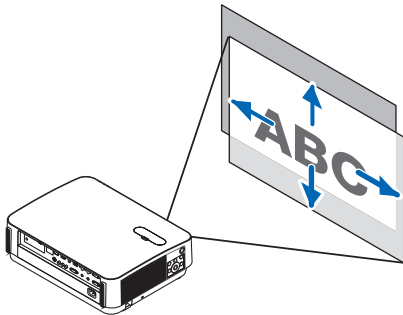
- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。  
 表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
  - それでも投写しない場合は (入力切替) ボタンをもう一度押してください。  
 (🔗 32 ページ)

## 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

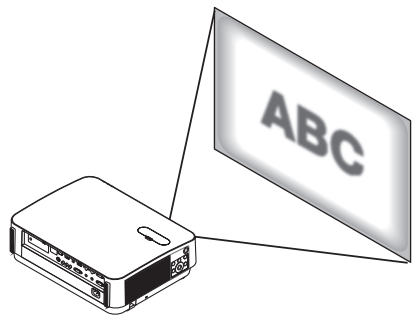
投写画面の上下・左右位置の調整

【レンズシフト】 (▶ 次ページ)



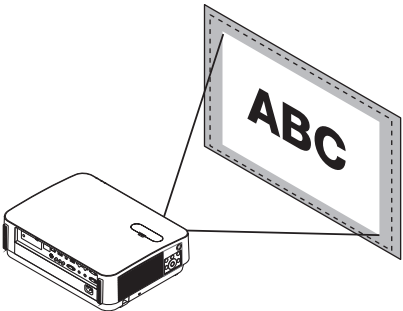
投写画面のフォーカス調整

【フォーカスリング】 (▶ 38 ページ)



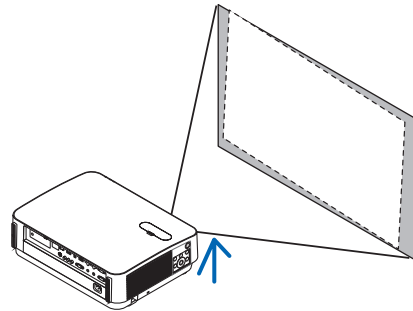
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】

(▶ 38 ページ)



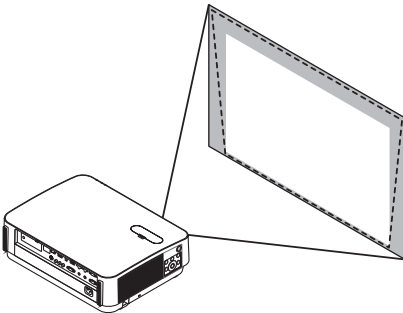
投写画面の高低と左右の傾き調整

【チルトフット】 (▶ 39 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】

(▶ 40 ページ)



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

## 投写画面の位置の調整（レンズシフト）



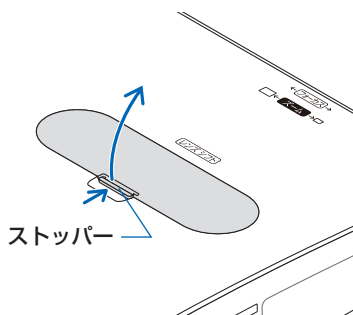
**注意**

調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。

### 1 レンズシフトカバーを開ける。

カバーのストッパーを前方へ押したまま開けます。

- ・レンズシフトカバーは外れません。



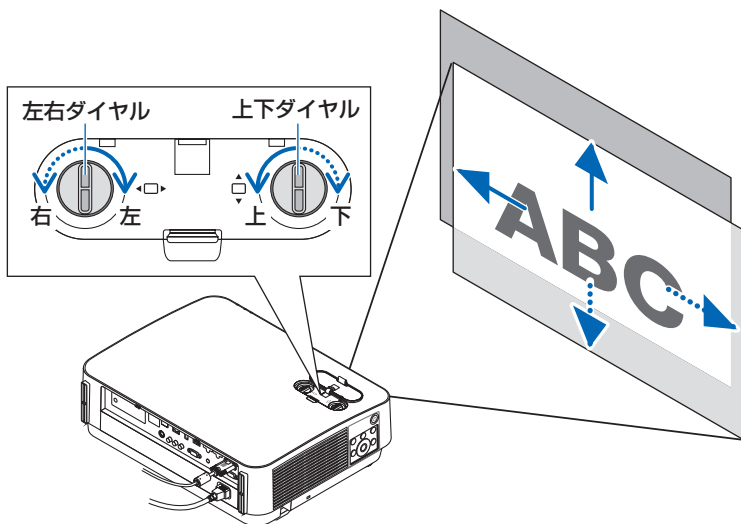
### 2 レンズシフトダイヤルを左右に回す。

**上下ダイヤル**

左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

**左右ダイヤル**

左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。

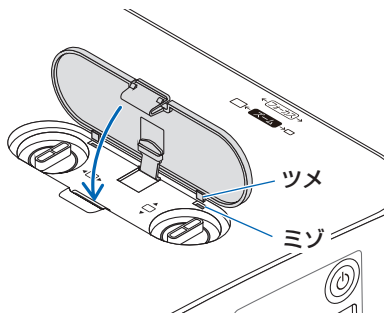


**注意**

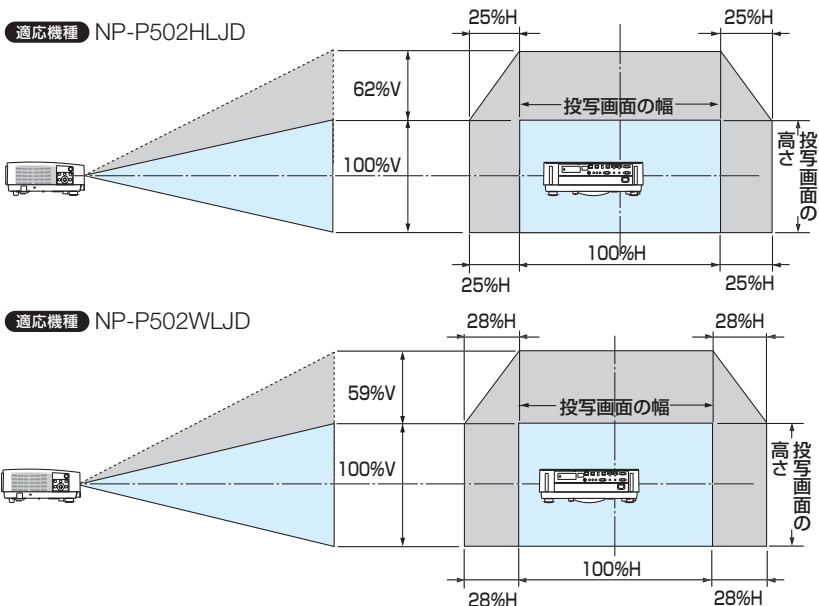
- ダイアルは1回転以上回すことができます。ただし、投写位置を参考に掲載の範囲を超えて移動することはできません。  
また、ダイアル機構が破損しますのでダイアルを無理に回さないでください。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。  
画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカス調整を行う際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がる場合があります。

**3 レンズシフトカバーを閉める。**

カバーのツメ（2箇所）を本体のミゾに入れてから、カバーを閉めます。

**参考**

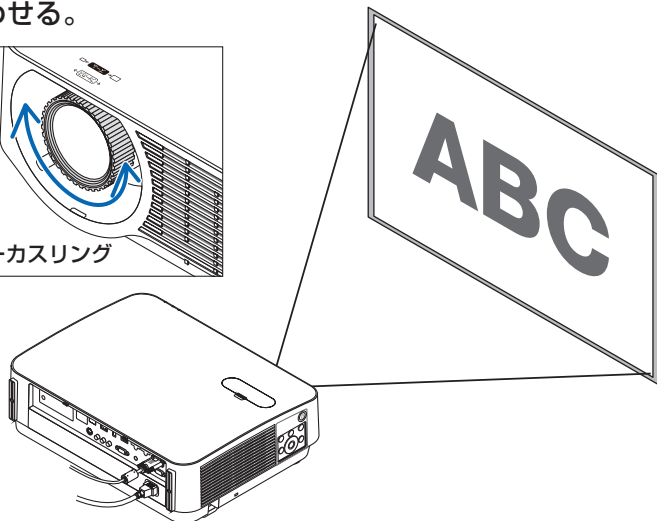
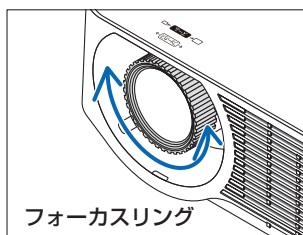
- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。
- 天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は [137 ページ](#) をご覧ください。



記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表わし、  
レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

- 1 フォーカスリングを左右に回してピントを合わせる。

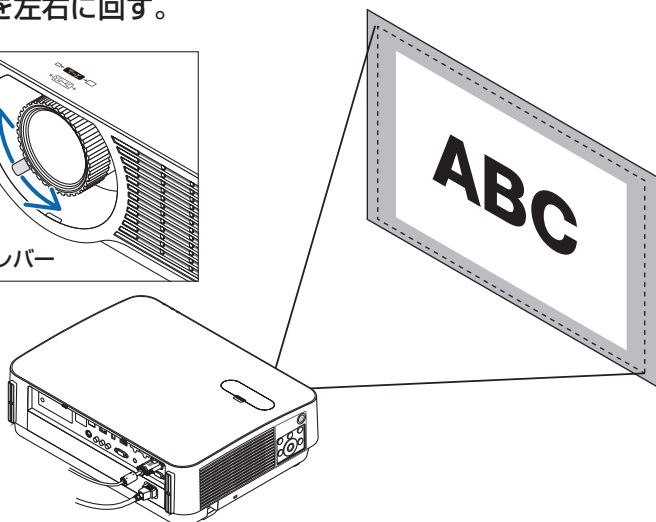
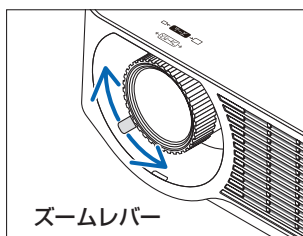


### 参考

- フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で30分以上経過したのちに行うことをおすすめします。  
テストパターンの表示については80ページをご覧ください。

## 投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

- 1 ズームレバーを左右に回す。



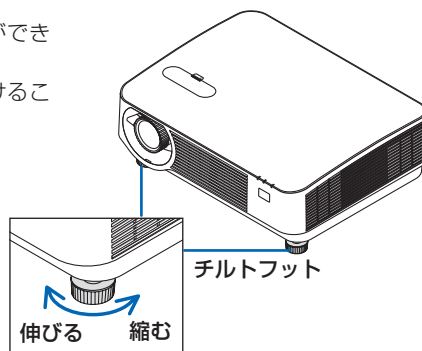
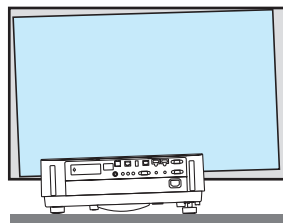
## 投写画面の高低と左右の傾き調整 (チルトフット)

### 1 左右のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。投写画面の高低は左右のチルトフットを回して高さ調整をします。

投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「2-6. 台形歪みを調整する (台形補正)」(次 ページ) をご覧ください。
- チルトフットは、最大 20mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大約 4° 傾けることができます。



2

映像を投写する (基本操作)


**注意**

- チルトフットは 20mm 以上伸ばさないでください。20mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

## 2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。



ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

- 1 APPS 端子以外でオンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の （台形補正）ボタンを押す。**

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。

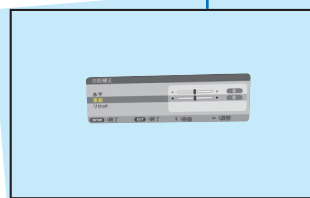
投写画面に台形補正画面が表示されます。



- 2  ボタンを押して「垂直」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して左右の辺を平行にする。**

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

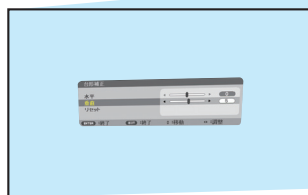
投写画面の外枠  
スクリーンの外枠





- 3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。**

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

(左辺を合わせる)

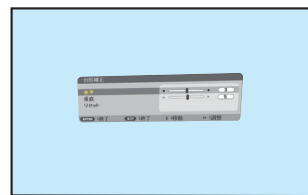


- 4  ボタンを押して「水平」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して上下の辺を平行にする。**

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

- ・右の図のように左辺を合わせた場合は、

 ボタンを押します。



- 5 手順2～4を繰り返し、台形歪みを調整する。**



## 6 台形歪みの調整が終わったら、**戻る** ボタンを押す。

台形補正画面が消えます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、**▼** (台形補正) ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順

**1**~**6**を行ってください。



### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電氣的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## 台形補正値を初期値に戻すには

- 1 台形補正画面を表示させ、**▼** ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



- 2 **◀▶** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。

確認画面が消えリセットされます。



### 注意

- リセットを行うと水平と垂直の調整値が初期化されます。

### 参考

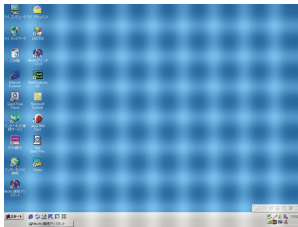
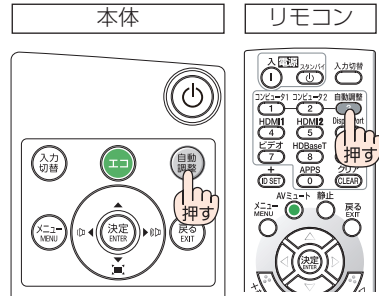
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正から行えます。(72 ページ)

## 2-7. コンピュータの映像を自動調整する

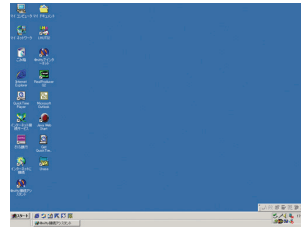
コンピュータの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

### 1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

### 参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 68, 69 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、154 ページを参照してください。

## 2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

### 本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**◀▶** ボタンを押す。

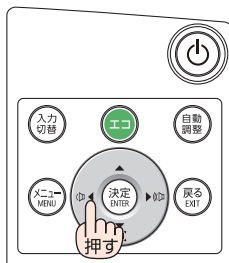
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

**注意**

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、**(部分拡大+)** ボタンで画面を拡大しているとき、および APPS 端子表示中は、**◀▶** ボタンを使った音量調整はできません。



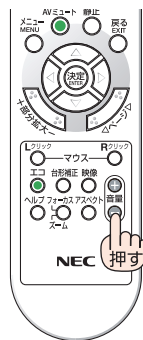
### リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの **(音量 +/-)** ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



**参考**

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。  
(▶ 81 ページ)

2

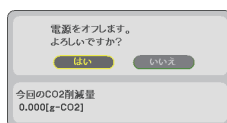
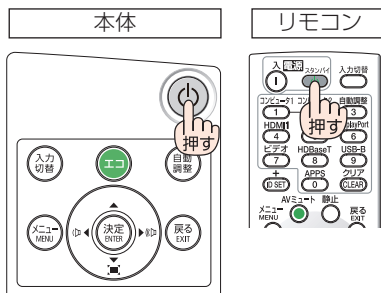
映像を投写する(基本操作)

## 2-9. 本機の電源を切る

### 1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回のCO<sub>2</sub>削減量 (49 ページ) を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (スタンバイ) ボタンを押します。



### 2 決定ボタンを押す。

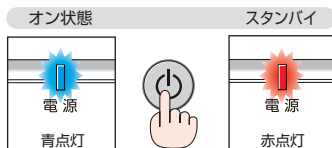
光源が消灯し、電源が切れます。

しばらく冷却ファンが回転し、冷却ファンの回転が終了するとスタンバイ状態になります。

- 注意**
- 電源を切った後の冷却にかかる時間は、一定の使用時間ごとに異なります。

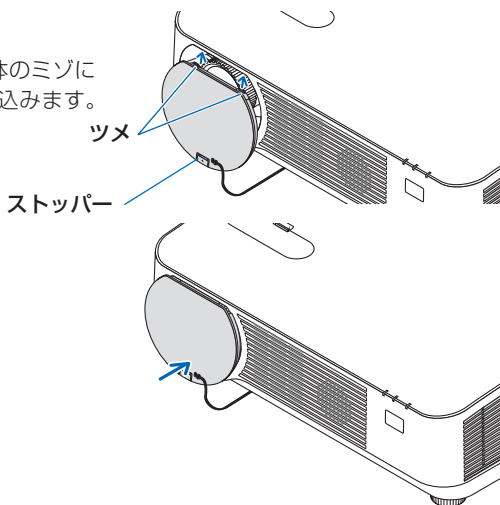
スタンバイ状態になると、電源インジケータが赤色で点灯します。また、ステータスインジケータが消灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、電源ボタンまたは電源 (スタンバイ) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、左右ボタンで「いいえ」を選んで(決定) ボタンを押します。



### 3 レンズキャップを取り付ける。

レンズキャップのツメ (2箇所) を本体のミゾに入れて、レンズキャップの下側を押し込みます。ストッパーが本体に固定されます。





## 注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



- 投写中および冷却ファン回転中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。電源インジケータが赤色で点灯するまで電源コードを抜かないでください。

## 2-10. 移動するときは

- 1 別売のケーブルカバーを取り付けている場合は取り外す。  
([147 ページ](#))
- 2 電源コードを取り外す。
- 3 各種信号ケーブルを取り外す。
  - ・ 本機に USB メモリを挿している場合は取り外してください。



## 注意

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

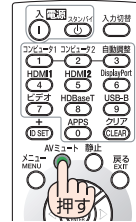
# 3. 便利な機能

## 3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

### 1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



### 注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 81 ページ)

### 参考

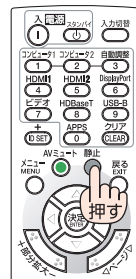
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

## 3-2. 動画を静止画にする (静止)

### 1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



### 参考

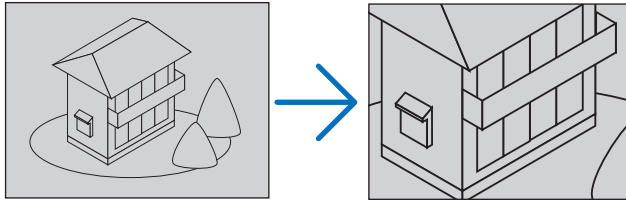
- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

## 3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

### 1 リモコンの(部分拡大+)ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- ・最大4倍まで拡大できます。



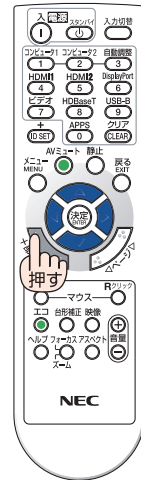
### 2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

### 3 (部分拡大-)ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- ・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。



3

便利な機能



注意

- ・信号によっては、4倍まで拡大できない場合があります。



参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

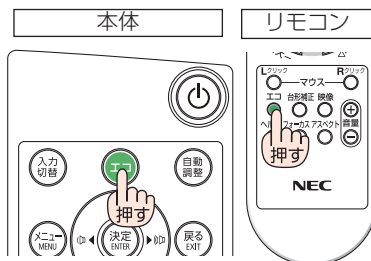
## 3-4. エコモードと省エネ効果

ライトモードのエコモードをエコ1またはエコ2に設定すると、輝度が下がり動作音が小さくなります。また、消費電力を抑えて、本機のCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	輝度	光源インジケータの状態
オフ (表示なし)	輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。	消灯  ステータス 光源
エコ1 (🌿)	輝度 (明るさ) が約 80% になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力が下がります。	点灯  ステータス 光源
エコ2 (🌿🌿)	輝度 (明るさ) 約 50% になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力がさらに下がります。	

### エコモードに切り替える

- 1** **エコ** ボタンを押す。  
エコモード選択画面が表示されます。



- 2** **▼/▲** ボタンを押して選択し、**決定** ボタンを押す。

エコモード選択画面が消え、選択したモードに切り替わります。

- ・エコモード時は光源インジケータが緑色で点灯します。




#### 参考

- ・オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→ライトモード→エコモードでも切り替えることができます。
- ・ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(🔗 86 ページ)
- ・本機に入力信号がない状態 (無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき) のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わり光源インジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。



- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的に輝度（明るさ）を下げる場合があります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に  アイコンが表示されます。

室温を下げたり、ファンモード (🔵 80 ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。

強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

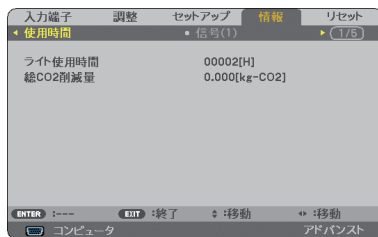


## 省エネ効果を見る（カーボンメータ）

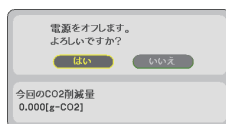
本機のエコモードを「エコ1」または「エコ2」に設定している期間の省エネ効果をCO<sub>2</sub>排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総CO<sub>2</sub>削減量」と「今回のCO<sub>2</sub>削減量」があります。

「総CO<sub>2</sub>削減量」は本機の工場出荷時から現在までのCO<sub>2</sub>削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(🔵 86 ページ)



「今回のCO<sub>2</sub>削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでのCO<sub>2</sub>削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



### 参考

- CO<sub>2</sub> 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO<sub>2</sub> 排出係数を掛けて算出\*します。

エコモードを「エコ1」または「エコ2」設定して使用したり AV ミュートをを使用すると、CO<sub>2</sub> 排出削減量の値は増加します。

\* CO<sub>2</sub> 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。

- 「総CO<sub>2</sub>削減量」は15分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。



## 3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

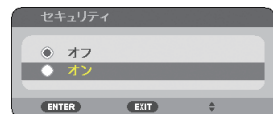
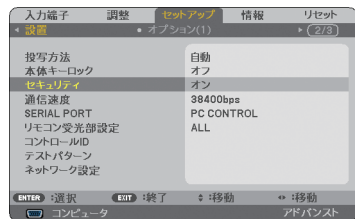
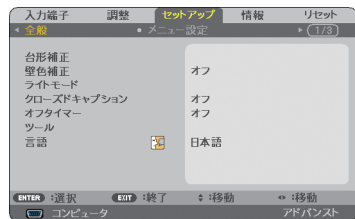
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**注意**

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

### セキュリティを有効にする

- 1** **[メニュー]** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **[▶]** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **[▶]** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **[▼]** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **[▼]** ボタンで「オン」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **[▼▲▶]** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**[決定]** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。





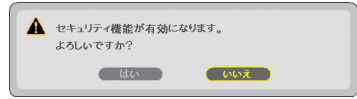
- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



- 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**決定** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



- 8 **戻る** ボタンで「はい」を選択し、**決定** ボタンを押す。

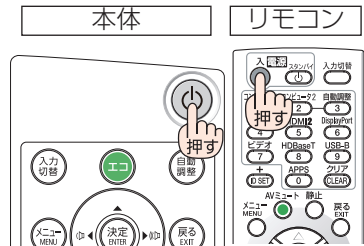
セキュリティが有効になります。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1 **電源** ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、電源**入** ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2 **メニュー** ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 3 セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。

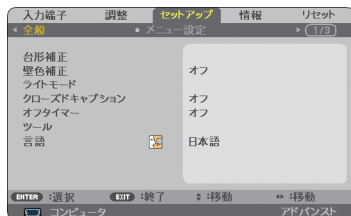
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

## セキュリティを無効にする

- 1 **メニュー** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
- 2 **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3 **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4 **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。



- 5 **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 6 セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティが無効になります。



### 参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[▶ 裏表紙](#)）にご連絡ください。

## 3-6. 3D 映像を投写する

本機は、液晶シャッターメガネを使って、3D 映像を視聴することができます。

### ⚠ 注意

#### ●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト(DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど)および液晶シャッターメガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

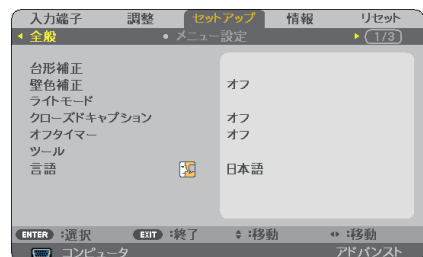
- 3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッターメガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常(吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のしびれなど)を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

### 液晶シャッターメガネ

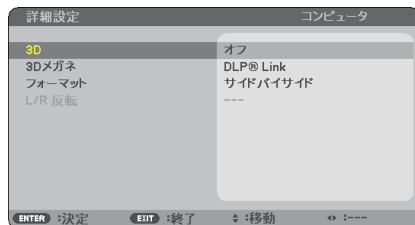
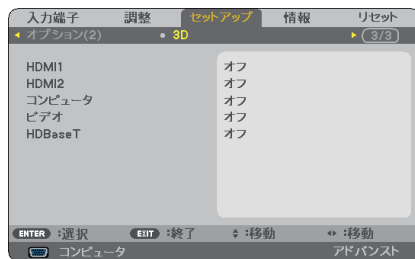
DLP® Link 方式やその他の方式に対応した市販の液晶シャッターメガネを使用します。

### 本機で 3D 映像を視聴する手順

- 1 本機と映像機器を接続する。
- 2 本機の電源を入れ、オンスクリーンメニューを表示して、3D モードを「オン」にする。
  - ① (メニュー)ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューが表示されます。
  - ② (▶)ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。



- ③ ボタンを押して「3D」にカーソルを合わせる。  
3D 画面が表示されます。
- ④ ボタンを押して 3D 映像を投写する信号にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。  
詳細設定画面が表示されます。
- ⑤ ボタンを押して「3D メガネ」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D メガネ設定画面が表示されます。
- ⑥ ボタンを押して使用する 3D メガネの方式を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D メガネの方式については [84 ページ](#)をご覧ください。  
必要に応じて、その他のメニュー項目（フォーマット、L/R 反転）を設定してください。[\(85 ページ\)](#)  
3D 映像に切り替わると、3D 視聴注意メッセージ画面を表示します（工場出荷状態）。  
詳細は [75 ページ](#)をご覧ください。
- ⑦ ボタンを押して「3D」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D モード設定画面が表示されます。
- ⑧ ボタンを押して「オン」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
選択した信号が 3D モードに変わります。



### 3 3D 映像のソフトを再生して、本機で投写する。

### 4 液晶シャッターメガネを装着して映像を視聴する。

3D 映像を視聴し終わったら、3D モードを「オフ」に切り替えてください。



- 3D 映像を視聴できる距離は、下記の条件において、スクリーン前面から 10 m までです。
 

・本機の明るさ	2000 lm 以上
・スクリーンゲイン	1
・視聴位置	スクリーン中央の正面
・外光の影響	なし
・液晶シャッターメガネ	DLP® Link 方式に対応した 3D メガネを使用

**注意**

- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- DLP® Link 方式の液晶シャッターメガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、液晶シャッターメガネで同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D モードのときは、台形補正の調整範囲が狭くなります。
- 3D モードのときは、次の設定は無効になります。  
壁色補正、映像メニューのプリセット、参照、色温度
- 3D 対応信号以外と判別した場合は OUT OF RANGE または 2D で表示されます。  
(▶ 141 ページ)

**参考**

- 3D モードが有効なときはオンスクリーンメニューの入力端子画面に「3D」と表示されます。
- 入力している信号が 3D かどうかは、オンスクリーンメニューの情報の「信号」画面で確認できます。

**● 3D エミッタを使用する場合**

本機は、市販の 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネを使って、3D 映像を視聴することができます。その際、3D 映像とメガネの同期を取るために、市販の 3D エミッタという装置を本機（プロジェクター側）に接続する必要があります。3D メガネは 3D エミッタからの情報を受けて、左右の開閉を行います。

**3D メガネおよび 3D エミッタの準備**

アクティブシャッター方式の 3D メガネは、VESA 準拠を使用ください。

市販の Xpand 製 RF タイプを推奨します。

- ・ 3D メガネ …………… Xpand X105-RF-X2
- ・ 3D エミッタ …… Xpand AD025-RF-X1

**3D エミッタを本機の 3D SYNC 端子に接続する。****注意**

- アクティブシャッター方式の 3D メガネ（VESA 準拠）を使ってください。
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。
- ブルーレイプレーヤの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D エミッタの DIN 端子を本機の 3D SYNC に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッタから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。

## 3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。

また、液晶シャッターメガネに添付している取扱説明書をご覧ください。

考えられる原因	解決策
選択している信号が 3D に対応していない。	3D 対応の映像信号を入力してください。
選択している信号に対して 3D モードが「オフ」になっている。	オンスクリーンメニューで 3D モードを「オン」にしてください。
本機に対応したメガネを使用していない。	DLP® Link 方式の 3D メガネをお買い求めください。または、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッターメガネをお買い求めください。 3D エミッタを使用している場合： 市販の 3D メガネおよび 3D エミッタ(推奨品)をお買い求めください。( <a href="#">前ページ</a> )
本機に対応した液晶シャッターメガネを使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
液晶シャッターメガネの電源をオフにしている。	液晶シャッターメガネの電源をオンにしてください。
液晶シャッターメガネに内蔵している電池が消耗している。	充電するか、電池を交換してください。
3D メガネの方式を正しく設定していない。	オンスクリーンメニューで 3D メガネの設定を変更してください。( <a href="#">84 ページ</a> )
視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。	3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。または、スクリーンの近くに明るい光源がある。	プロジェクター同士を十分離してください。 スクリーンを光源から離してください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。	お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。
コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。
コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。
3D エミッタを使用している場合	
3D メガネの受光部と 3D エミッタの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
3D 映像コンテンツの 3D 方式に対応していない。	3D 映像コンテンツの販売会社へお問い合わせください。



# 4. オンスクリーンメニュー

## 4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

### オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

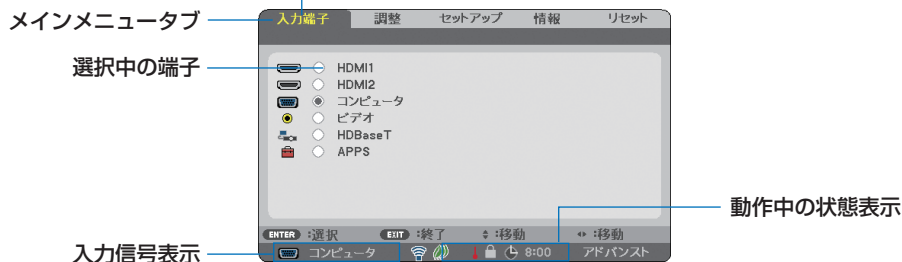
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

**準備**：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

#### 1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

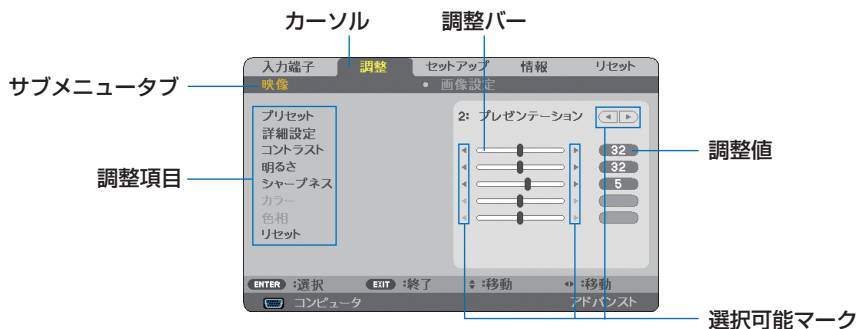
カーソル (黄色の部分)



無線 LAN ユニットの動作中、エコモード設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

#### 2 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。





**3** (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

**4** 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・ 「 (選択可能マーク)」が付いている項目は (◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (決定) ボタンを押します。

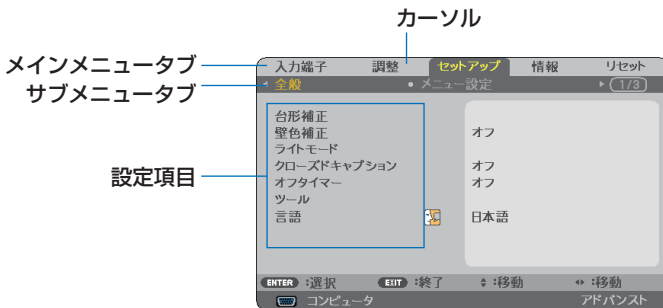
- ・ 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ (決定) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

**5** (戻る) ボタンを 2 回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

**6** (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



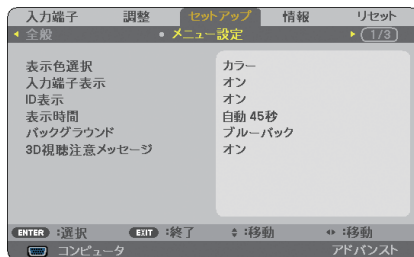
**7** (決定) ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

- ・ セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション (1)、オプション (2)、3D という 6 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。

**8** (▶) ボタンを 1 回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



次ページに続く

- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

- ・ 選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。

- 12 (メニュー) ボタンを 1 回押す。

メニューが消えます。




注意

- ・ 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

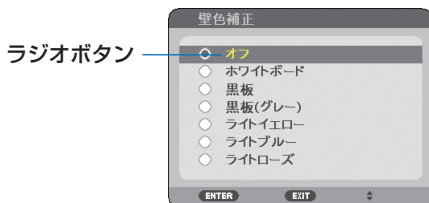
## 調整画面、設定画面の操作例

### ● ラジオボタンの選択


選択肢の中からから 1 つ「」を選びます。


#### 【例 1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



- 1 (▼/▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

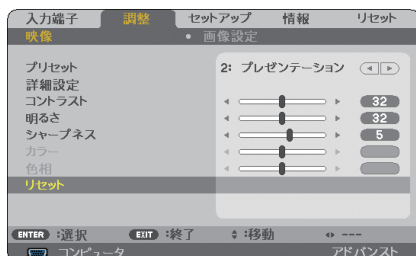
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

## ● 実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

### 【例 2】 調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**戻る** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
機能が実行されます。
  - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

## 4-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの切り換えは、APPSメニューの「ツール」→「管理者モード」で行います。(108 ページ)

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
入力端子	—			HDMI1 <b>B</b> HDMI2 <b>B</b> コンピュータ <b>B</b> ビデオ <b>B</b> HDBaseT <b>B</b> APPS <b>B</b>	65
調整	映像	プリセット		1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：ナチュラル、8：DICOM SIM.	66
		詳細設定	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、ナチュラル、DICOM SIM.	66
			ガンマ補正	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	67
			スクリーンサイズ	大、中、小	
			色温度	5000、6500、7800、9300	
			カラーエンハンスメント	オフ、弱、中、強	
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
		コントラスト <b>B</b>		68	
		明るさ <b>B</b>			
		シャープネス <b>B</b>			
	カラー <b>B</b>				
	色相 <b>B</b>				
	リセット <b>B</b>				
	画像設定	クロック周波数			68
		位相			69
水平					
垂直					
オーバースキャン		自動、オフ、オン			
アスペクト		自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル	70		
ノイズリダクション		オフ、弱、中、強	71		
セットアップ	全般	台形補正 <b>B</b>	台形補正 水平	72	
			台形補正 垂直		
			リセット		
		壁色補正 <b>B</b>	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板 (グレー)、ライトイエロー、ライトブルー、ライトローズ		

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
	セットアップ	全般			
		ライトモード	エコモード	オフ、エコ1、エコ2	73
		ド <sup>B</sup>	調整 輝度一定	16%～100% オフ、オン	
		クローズドキャプション		オフ、キャプション1、キャプション2、 キャプション3、キャプション4、テキ スト1、テキスト2、テキスト3、テキ スト4	
		オフタイマー <sup>B</sup>		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、 8:00、12:00、16:00	74
		ツール <sup>B</sup>		APPSメニューへ	
		言語 <sup>B</sup>		ENGLISH、DEUTSCH、 FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、 SVENSKA、日本語、DANSK、 PORTUGUÊS、ČEŠTINA、 MAGYAR、POLSKI、 NEDERLANDS、SUOMI、 NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、 عربي、ΕΛΛΗΝΙΚÁ、简体中文、 한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、 БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दी、INDONESIA、 ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT	
メニュー 設定		表示色選択		カラー、モノクロ	74
		入力端子表示		オフ、オン	
		ID表示		オフ、オン	75
		表示時間		手動、自動5秒、自動15秒、 自動45秒	
		バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	75
		3D視聴注意メッセージ		オフ、オン	
設置		投写方法		自動、デスク/フロント、天吊り/リ ア、デスク/リア、天吊り/フロント	76
		本体キーロック		オフ、オン	77
		セキュリティ		オフ、オン	
		通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、 38400bps	
		シリアルポート		PC CONTROL、HDBaseT	78
		リモコン受光部設定		ALL、前側/後側、前側、後側、 HDBaseT	
		コントロール ID	コントロールID 番号	1-254	79
			コントロールID	オフ、オン	
		テストパターン			80
		ネットワーク設定		APPSメニューへ	
オプション (1)		ファンモード		自動、高速	80
		WXGAモード		オフ、オン	81
		画面モード		自動、静止画、動画	
		HDMI設定			
		HDMI1	ビデオレベル	自動、標準、拡張	81
		HDMI2	ビデオレベル	自動、標準、拡張	
		HDBaseT	ビデオレベル	自動、標準、拡張	
		音声入力選 択	HDMI1	HDMI1、コンピュータ	81
			HDMI2	HDMI2、コンピュータ	
			HDBaseT	HDBaseT、コンピュータ	
		ビーブ音		オフ、オン	

メニュー		選択項目		参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
セットアップ	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ	82	
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	83	
		オートパワーオン		オフ、オン		
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00		
		初期入力選択		ラスト、自動、HDMI1、HDMI2、コンピュータ、ビデオ、HDBaseT、APPS	84	
	3D	HDMI1	3D		オフ、オン	84
			3D メガネ		DLP® Link、その他	85
			フォーマット		オート、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル	
			L/R 反転		ノーマル、反転	
		HDMI2	3D		オフ、オン	84
			3D メガネ		DLP® Link、その他	85
			フォーマット		オート、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル	
			L/R 反転		ノーマル、反転	
		コンピュータ	3D		オフ、オン	84
			3D メガネ		DLP® Link、その他	85
			フォーマット		サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル	
			L/R 反転		ノーマル、反転	
		ビデオ	3D		オフ、オン	84
			L/R 反転		ノーマル、反転	85
		HDBaseT	3D		オフ、オン	84
3D メガネ			DLP® Link、その他	85		
フォーマット			オート、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル			
L/R 反転			ノーマル、反転			
情報	使用時間 <b>B</b>		ライト使用時間、総 CO2 削減量、	86		
	信号 (1) <b>B</b>		解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式			
	信号 (2) <b>B</b>		信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、3D 信号			
	HDBaseT		信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス			
	有線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス			
	無線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、セキュリティ、チャンネル、信号レベル			
	VERSION (1) <b>B</b>		FIRMWARE、DATA、			
	VERSION (2) <b>B</b>		FIRMWARE2			

メニュー		選択項目	参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	その他 <sup>Ⓐ</sup>	プロジェクター名 <sup>Ⓐ</sup> 、ホスト名 <sup>Ⓐ</sup> 、 MODEL NO. <sup>Ⓐ</sup> 、 SERIAL NUMBER <sup>Ⓐ</sup> 、 LAN UNIT TYPE、CONTROL ID <sup>Ⓐ</sup> *2	86
リセット	—	表示中の信号 全データ	87

※2：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。



## 4-3. 入力端子

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI1	HDMI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。(▶ 101 ページ)
APPS	APPS メニューを表示します。または、APPS メニューで前回使用していた機能を表示します。



- コンポーネント入力信号をコンピュータ映像入力端子に接続している場合は、コンピュータを選択してください。  
コンピュータ映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

## 4-4. 調整

### 映像

#### ●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目 1～8 に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1～8 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：ナチュラル	明るさと色のバランスがとれた設定です。
8：DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

#### 注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

#### 参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

#### ●詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～8 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)**ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、カラーエンハンスメント、ダイナミックコントラストの項目について、細かな設定ができます。

#### 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

## ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

## スクリーンサイズ

写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	110 型前後のサイズのときに選択します。
中	90 型前後のサイズのときに選択します。
小	70 型前後のサイズのときに選択します。

### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

## 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

### 注意

- 参照で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

## カラーエンハンスメント

映像の色の濃さを調整します。「弱」「中」「強」の順に色が濃くなりますが、画面は暗くなります。「オフ」を選択したときは、カラーエンハンスメントは機能しません。

### 注意

- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

## ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

### 注意

- 以下のどちらかの場合はダイナミックコントラストを選択できません。
  - ・ ライトモードで、エコモードを「エコ1」または「エコ2」を選択しているとき。
  - ・ 輝度一定モードが動作しているとき。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかかった映像にしたり、緑がかかった映像にします。

### 注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/HDMI / HDBaseT の RGB 系	○	○	○	×	×
コンピュータ/HDMI / HDBaseT のコンポーネント系	○	○	○	○	○
ビデオ	○	○	○	○	○
APPS、LAN	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

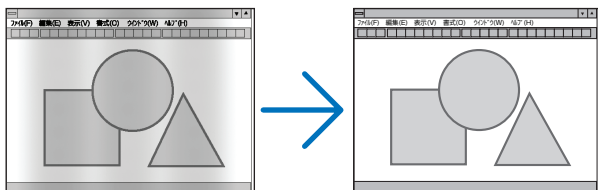
## ●リセット

「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

## 画像設定

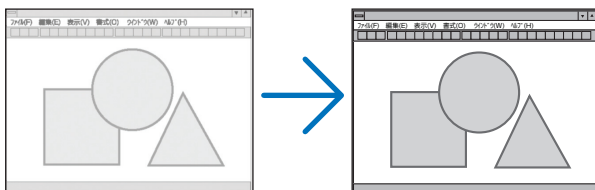
### ●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



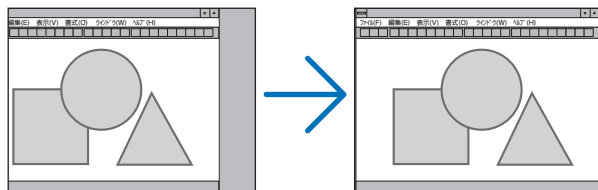
### ●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



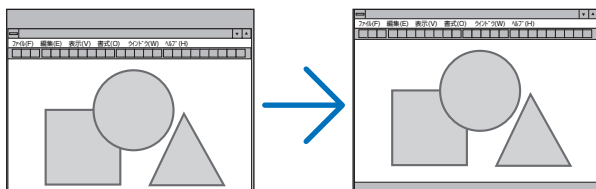
## ●水平

画面を水平方向に移動します。



## ●垂直

画面を垂直方向に移動します。



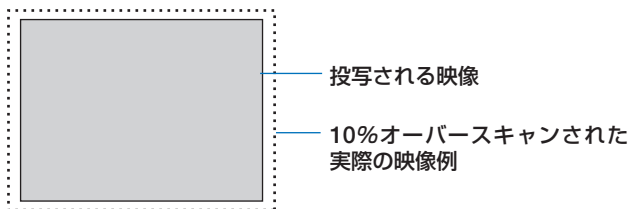
### 注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。  
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

## ●オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。

自動	入力信号に最適なオーバースキャンをして表示します。(工場出荷状態)
オン	オーバースキャンをしないで信号を表示します。
オフ	オーバースキャンをして信号を表示します。



### 注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力時は選択できません。


## ●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
Full HD 1920 × 1080	16 : 9
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10

選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(🔗次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度そのまま投写します。  【例】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき   <b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。</li><li>● コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。</li></ul>

## 【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

コンピュータ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ			NP-P502HLJD		
			NP-P502WLJD		

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

### 参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4:3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのピタサイズ 1.85:1 やシネマスコープ 2.35:1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

## ●ノイズリダクション

ビデオ信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微かな揺れ）を低減します。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定しています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

## 4-5. セットアップ

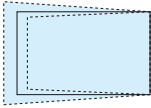
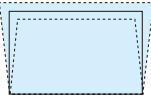
### 全般

#### ●台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。

台形補正 水平と台形補正 垂直（同時調整可）の補正が選択できます。

操作について詳しくは、「2-6. 台形歪みを」調整する（台形補正）」（[40 ページ](#)）をご覧ください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。	
リセット	上記全ての調整値がリセットされ、初期値に戻ります。	

#### 注意

- 台形補正は、電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整を行うと調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

#### 参考

- 台形補正での最大調整範囲は、水平方向： $\pm 25^\circ$ 、垂直方向： $\pm 30^\circ$  です。
  - ・ 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

#### ●壁色補正

映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

#### 注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。



## ● ライトモード

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整です。省エネ設定は [48 ページ](#) の「3-4. エコモードと省エネ効果」をご覧ください。

エコモード	オフ	輝度（明るさ）が、「調整」で設定した明るさになります。
	エコ1	設定したモードに対応して輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。
	エコ2	輝度一定モードが「オフ」のとき設定ができます。
調整		出力を 16 ~ 100% の範囲（1%刻み）で調整できます。 複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせが行えます。 エコモードが「オフ」かつ、輝度一定モードが「オフ」のとき調整が有効になります。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	工場出荷状態の明るさを基準にして、80% の明るさを一定に保つように制御します。  <b>注意</b> ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。 色は一定になりません。

### 参考

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じて出力を自動調整し、輝度を維持できます。  
ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

## ● クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション 1 ~ 4、テキスト 1 ~ 4	選択した字幕や文字を表示します。

### 注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
  - ・ オンスクリーンメニュー表示中
  - ・ メッセージ表示中
  - ・ (部分拡大 +/-) ボタンによる画面拡大中
  - ・ (静止) ボタンによる静止画中
  - ・ (AV ミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。  
はみ出したときは画面におさまるように調整してください。
- クローズドキャプションの拡張文字には対応していません。

### 参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

## ●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくことで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

## ●ツール

ツールメニューを表示します。(🔍 108 ページ)

## ●言語

メニューに表示される言語を選択します。

**参考** ● 言語は、リセットを行っても変更されません。

## メニュー設定

### ●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

### ●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子で APPS 端子を選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

### ●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの (ID SET) ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID (🔍 79 ページ) をご覧ください。

### ●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

## ●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

### 注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、入力端子選択が HDBaseT のときは「ブルーバック」になります。
- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。

### 参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

## ● 3D 視聴注意メッセージ

3D 映像に切り替えたとき視聴注意メッセージを表示するか、しないかを選択します。  
(工場出荷状態はオンです。)

オフ	3D 視聴注意メッセージ画面は表示されません。
オン	3D 映像に切り替えたときは 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。 (決定) ボタンを押すとメッセージは消えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 約 60 秒経過したときや他のボタン操作をした場合は、自動で消えます。 自動で消えたときは、再度 3D 映像に切り替えると 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。</li></ul>


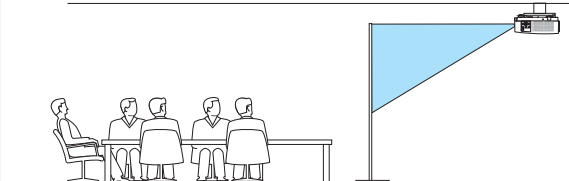

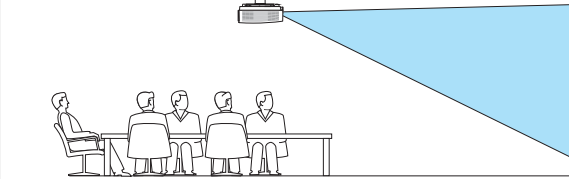
## 設置

### ● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。  
お客様による設置は絶対にしないでください。  
落下してけがの原因となります。

自動	本機の電源を入れたときに、本体内部のセンサで、デスク/フロントであるか、天吊り/フロントであるかを判別して、投写方法を切り替えます。
デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

## ●本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

### 注意

- 本体キーロックの解除方法
  - (1) 投写中またはスリープ状態のときは、本体の（入力切替）ボタンを約 10 秒間押しと、本体のキーロックの設定が解除されます。
  - (2) スタンバイ状態のときは、本体の（電源）ボタンを約 10 秒間押しと本機の電源を入れることができます。本機が投写状態に移行したあと、(1) の操作を行ってください。

### 参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

## ●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」[\(P.50 ページ\)](#) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

### 参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

### 参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

## ●シリアルポート

市販のHDBaseT 伝送機器側からプロジェクターを遠隔操作する（電源の入 / 切など制御信号）場合、本機のどの端子でシリアル制御信号を受信するかの設定です。遠隔操作しない（映像と音声のみの伝送）場合は設定の必要はありません。

PC CONTROL	PC コントロール端子で制御信号（RS232C シリアル通信）を受信します。
HDBaseT	Ethernet/HDBaseT ポートで映像 / 音声と制御信号（RS232C シリアル通信）を受信します。

### 注意

- 「HDBaseT」設定時は、スタンバイモード（[82 ページ](#)）がノーマルまたはネットワークスタンバイの設定に関わらず、「スリープ状態」になります。それにより、本機がスタンバイ状態のとき、接続している HDBaseT 伝送機器から本機の電源を入れることができます。  
また、「HDBaseT」設定時、スタンバイモードの設定は変更できません。

### 参考

- LAN ポートでプロジェクターを制御するときは、どちらの設定でも動作します。

## ●リモコン受光部設定

本体前面と後面および HDBaseT のリモコン受光部の設定を行います。選択後、**(決定)**ボタンを押すと確認画面が開きます。**(◀)**ボタンを押してカーソルを「はい」に合わせて、**(決定)**ボタンを押すと設定されます。

ALL	前側、後側のリモコン受光部と HDBaseT（電源入時）からのリモコン信号を有効にします。
前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。

### 参考

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。
- 本機に別売のケーブルカバーを取り付けている場合は、後ろ側のリモコン受光部は動作しません。

## ●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。  
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1～254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。



- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。



- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の（決定）ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

### リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの（ID SET）ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの（ID SET）ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。  
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または（CLEAR）ボタンを押します。



- リモコンの ID は 1～254 まで登録できます。

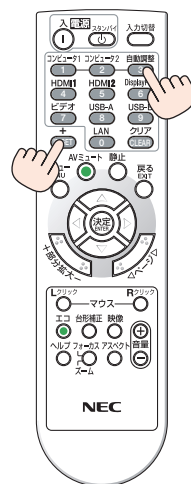
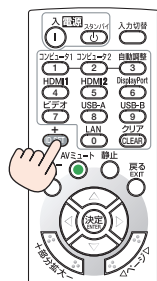
- 4 （ID SET）ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。



- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



## ●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認およびフォーカスを調整する際に表示します。

オンスクリーンメニューで「テストパターン」を選択すると、調整用のパターンが表示されます。画面に歪みがある場合は、プロジェクターの設置角度を変更するか、リモコンの(台形補正)ボタンを押して調整してください。

フォーカスを調整する場合は、フォーカスリングを回してください。

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で30分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

テストパターンを消す場合は、(戻る)ボタンを押します。

## ●ネットワーク設定

ネットワーク設定メニューを表示します。(107 ページ)

### オプション (1)

## ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。

### 注意

- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高速」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

## ●WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA: 1280 × 768 ドット / WUXGA: 1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

### 参考

- 工場出荷時の設定は「オン」になっています。



## ● 画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。



**注意**

- 入力信号によっては画面モードが選択できない場合があります。

## ● HDMI 設定

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子および Ethernet/HDBaseT ポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

HDMI1	ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
		標準	拡張を無効にします。
		拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
HDMI2	ビデオレベル	自動	HDMI1 と同じ機能です。
		標準	
		拡張	
HDBaseT	ビデオレベル	自動	HDMI1 と同じ機能です。
		標準	
		拡張	

## ● 音声入力選択

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子、および Ethernet/HDBaseT ポートの音声入力の選択です。

アナログ音声を入力するときは、本機のコンピュータ音声入力端子と接続機器の音声出力端子を接続し、音声入力選択を「コンピュータ」に設定します。

## ● ビープ音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。



**参考**

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート)ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

## オプション (2)

### ●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線 LAN / 無線 LAN を使って本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、ユーザーサポートウェアを使った操作、ネットワークサービス、プログラムタイマー



- 「ネットワークスタンバイ」に設定している場合、LAN が 3 分間リンクダウンすると、消費電力を下げるために、自動的に「ノーマル」に変わります。
- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり（灰色表示）、自動的にオートパワーオフの「0:10」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態\*になります。  
\* スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。消費電力が「ネットワークスタンバイ」に比べて高くなります。ステータスインジケータは緑色で点灯します。

スタンバイモードの設定が「ネットワークスタンバイ」の場合

- ・ ネットワークサービス → AMX 設定 → 「有効」のとき
- ・ ネットワークサービス → CRESTRON → CRESTRON CONTROL → 「有効」のとき
- ・ ネットワーク設定 → 無線 LAN 設定 → 「無効」以外のときでかつ無線 LAN ユニットが接続されているとき
- ・ コンピュータ映像入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI1 入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI2 入力端子に信号入力があるとき



- スタンバイモードを「ノーマル」にしている場合、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO<sub>2</sub> 削減量の計算から除外しています。

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

## ●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号または HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ映像入力端子、HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は動きません。
オン	コンピュータ信号または HDMI 信号を感知すると本機の電源を自動で入れて投写します。

### 注意

- コンピュータ映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は動きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ってスリープ状態になったあと 5 秒以上待ってから、コンピュータ信号または HDMI 信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号または HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

## ●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は動きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。
APPS	APPS メニューを表示します。

### 注意

- 自動のときは、APPS は検出しません。  
APPS 端子を投写するときは、APPS またはラストを選択してください。

## 3D

### ● HDMI 1 / HDMI 2 / コンピュータ / ビデオ / HDBaseT

各入力端子に対して 3D モードの動作を設定します。

設定したい入力端子にカーソルを合わせて(決定)ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。

3D モード設定のしかたは、「3-6. 3D 映像を投写する」(53 ページ)をご覧ください。

### 3D

3D モードのオン/オフを切り替えます。

オフ	3D モードを無効にします。通常の映像を投写するときに設定します。
オン	3D モードを有効にします。3D 映像を投写するときに設定します。

### 3D メガネ

使用する 3D メガネの方式を選択します。

DLP® Link	DLP® Link 方式の XPAND 3D メガネや、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッターメガネを使用するときに設定します。
その他	DLP® Link 方式以外の IR 方式やワイヤード方式の液晶シャッターメガネを使用するときに設定します。

### 注意

- ビデオでは表示されません。
- DLP® Link 方式以外の液晶シャッターメガネをご使用の場合、メガネによっては同期が取れなくなることがあります。

## フォーマット

3D 映像フォーマットを設定します。

自動	自動で映像フォーマットを設定します。HDMI 3D のフォーマットのみ対応します。
フレームパッキング	フレームパッキング方式の 3D 映像を投写するときを選択します。左目用の画像と右目用の画像が非圧縮で記録されたフォーマットです。
サイドバイサイド	サイドバイサイド方式の 3D 映像を投写するときを選択します。左目用の画像と右目用の画像を横にならべて記録されたフォーマットです。Half (水平解像度 1/2) のみ対応します。
トップアンドボトム	トップアンドボトム方式の 3D 映像を投写するときを選択します。左目用の画像と右目用の画像を縦に並べて記録されたフォーマットです。Half (垂直解像度 1/2) のみ対応します。
フレームシーケンシャル	フレームシーケンシャル方式の 3D 映像を投写するときを選択します。左目用の画像と右目用の画像が交互に表示されるフォーマットです。

### 注意

- ビデオでは表示されません。
- 3D 信号入力中、3D メガネを「DLP® Link」に設定しているときのみ操作できます。

## L/R 反転

3D 映像が観づらい場合に設定を変更します。

ノーマル	通常の設定です。
反転	左目用の画像と右目用の画像の表示順を変更します。

### 注意

- L/R 反転が操作できないときは、リモコンの映像ボタンを押しても「L/R 反転」画面は表示されません。

## 4-6. 情報

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

サブメニュー	項目名
使用時間	ライト使用時間、総 CO2 削減量
信号 (1)	解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式
信号 (2)	信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、3D 信号
HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス
有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス
無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、セキュリティ、チャンネル、信号レベル
VERSION (1)	FIRMWARE、DATA
VERSION (2)	FIRMWARE2
その他	プロジェクター名、ホスト名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。  
(🔗 [48 ページ](#))
- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(🔗 [140 ページ](#)) もあわせてご覧ください。

## 4-7. リセット

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

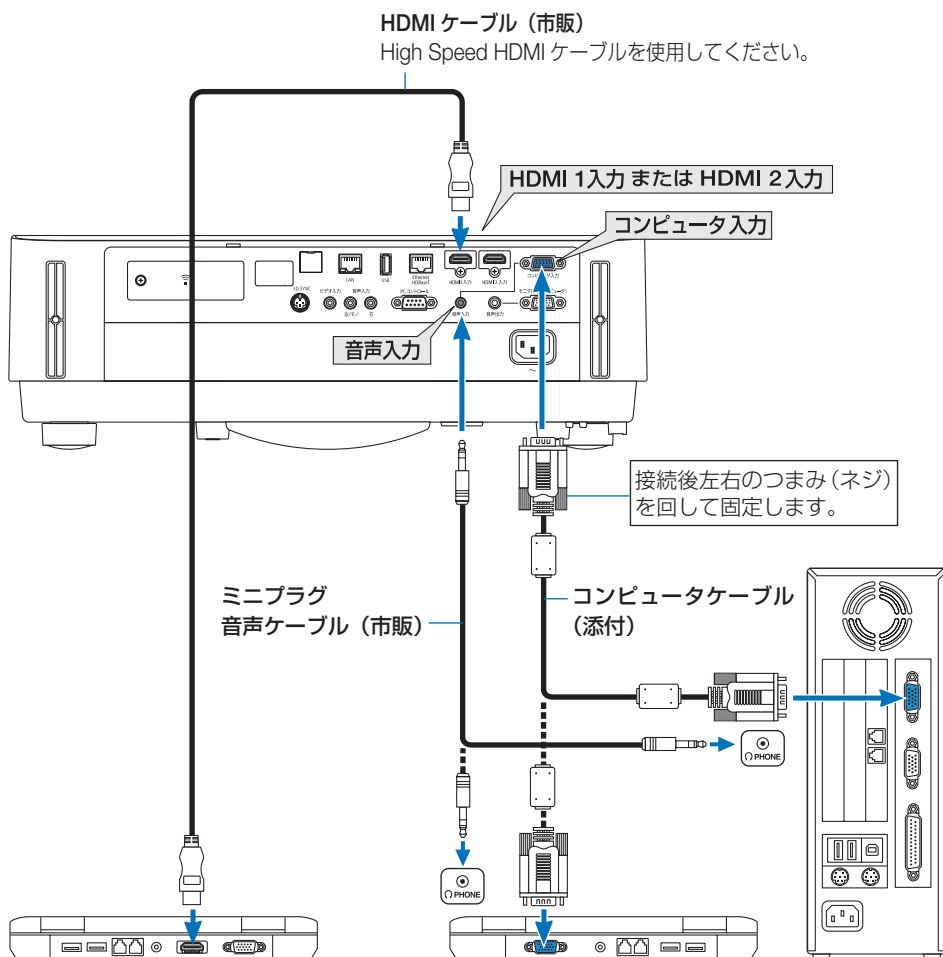
言語・バックグラウンド・投写方法・シリアルポート・セキュリティ・通信速度・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・ライト使用時間・総CO2削減量・プロジェクター名・有線LAN、無線LAN・IMAGE EXPRESS UTILITY LITE・ネットワークサービス・日付と時刻・管理者モード・リモートデスクトップ

# 5. 機器と接続する

## 5-1. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）および HDMI ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 または HDMI 2 入力端子を接続します。



コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	(HDMI 2)
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ1)

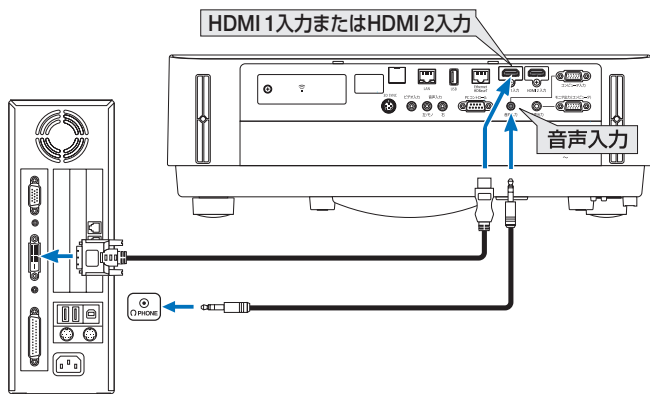
### 注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
  - 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
  - コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
  - 当社製のビデオユニット（型名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
  - スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
  - 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）を再度選択してください。
- 【入力端子の再選択方法】
- ・リモコンで操作する場合は(HDMI 1)または(HDMI 2)ボタンを押してください。
  - ・プロジェクター本体で操作する場合は(メニュー)ボタンを押して入力端子画面で HDMI 1（または HDMI 2）を再選択してください。

次ページに続く

**参考**

- コンピュータ映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。



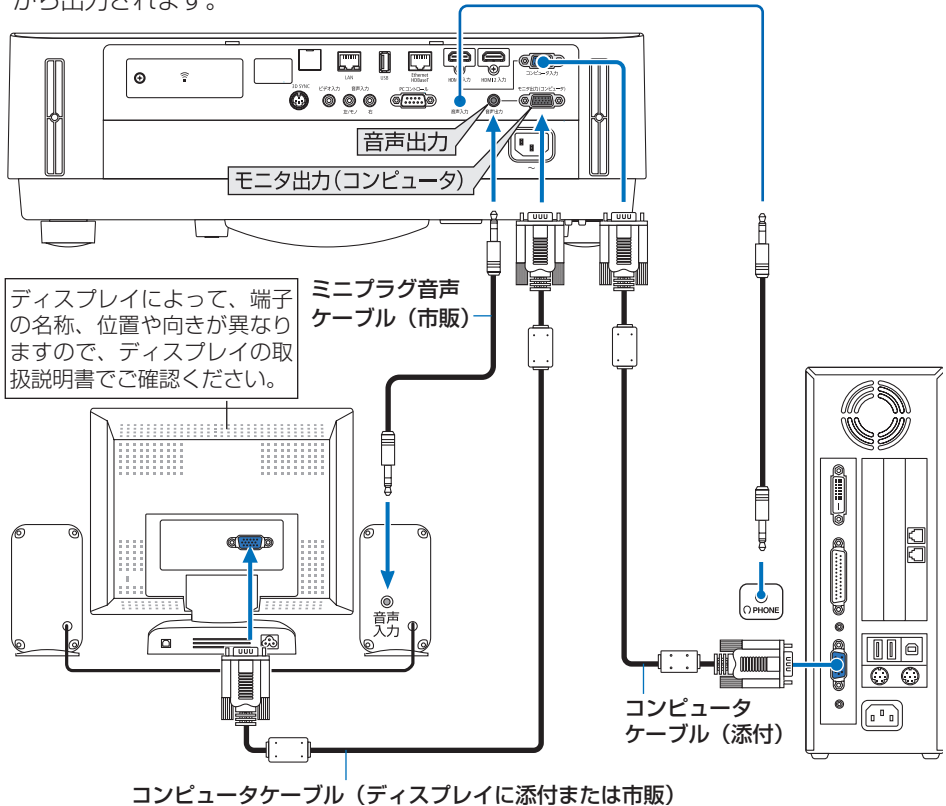
また、コンピュータの音声出力は、本機のコンピュータ音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）→音声入力選択で HDMI1 または HDMI2 の設定を「コンピュータ」に切り替えてください。 (81 ページ)

**注意**

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m 以内のものを使用してください。
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
  - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
  - ・ コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

## 5-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力（コンピュータ）端子から出力されます。



**注意**

- 本機の音声出力端子は、ヘッドフォン用端子ではありません。
- 本機のモニタ出力（コンピュータ）端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。  
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がなくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニタ出力（コンピュータ）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときは出力しません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、無信号状態が3分以上続くと、モニタ出力端子および音声出力端子からの出力が停止します。この場合は、映像信号を入力後にケーブルを抜き差ししてください。

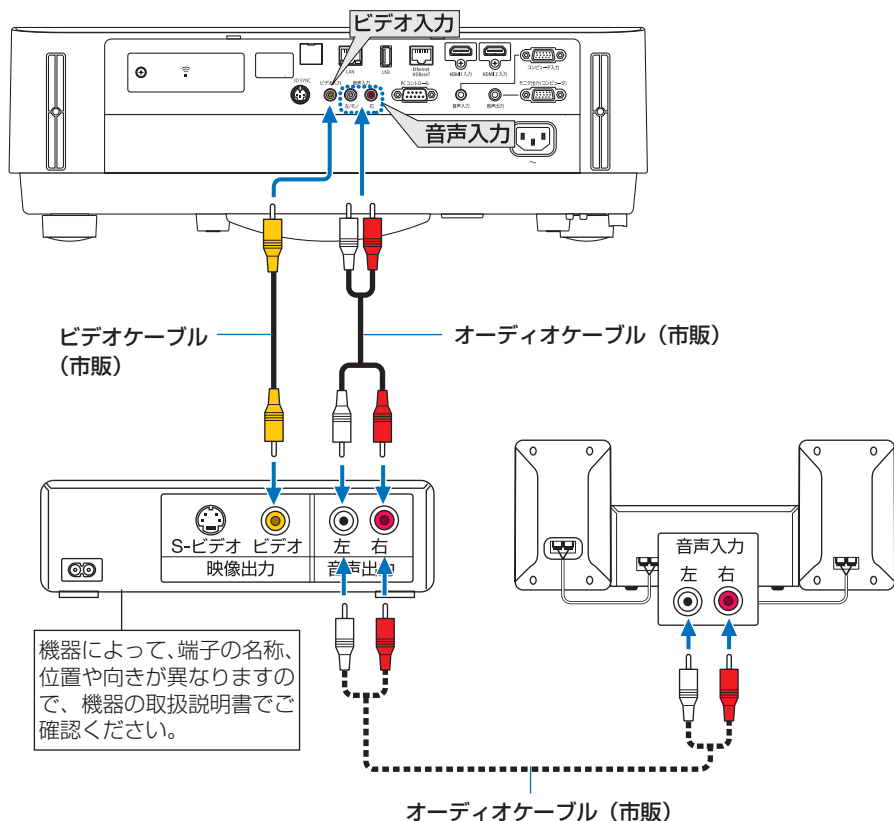
- モニタ出力とスリープ状態について  
スタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときにモニタ出力されません。  
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合は、スタンバイ状態のときにコンピュータ映像入力端子に信号を入力すると、モニタ出力（コンピュータ）端子と音声出力端子が使用できます。  
この状態をスリープ状態と呼びます。  
スリープ状態は「ノーマル」「ネットワークスタンバイ」以外の待機状態です。  
ただし、メニューからは選択できません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ映像入力端子に信号の入力があり、かつ音声入力端子に音声入力があると、電源を切る直前に投写していたコンピュータかビデオの音声が出力されます。  
また、BNC 端子から変換してコンピュータ映像入力端子に入力した信号は、スタンバイ状態とスリープ状態の場合は、モニタ出力できません。

## 5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

### ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



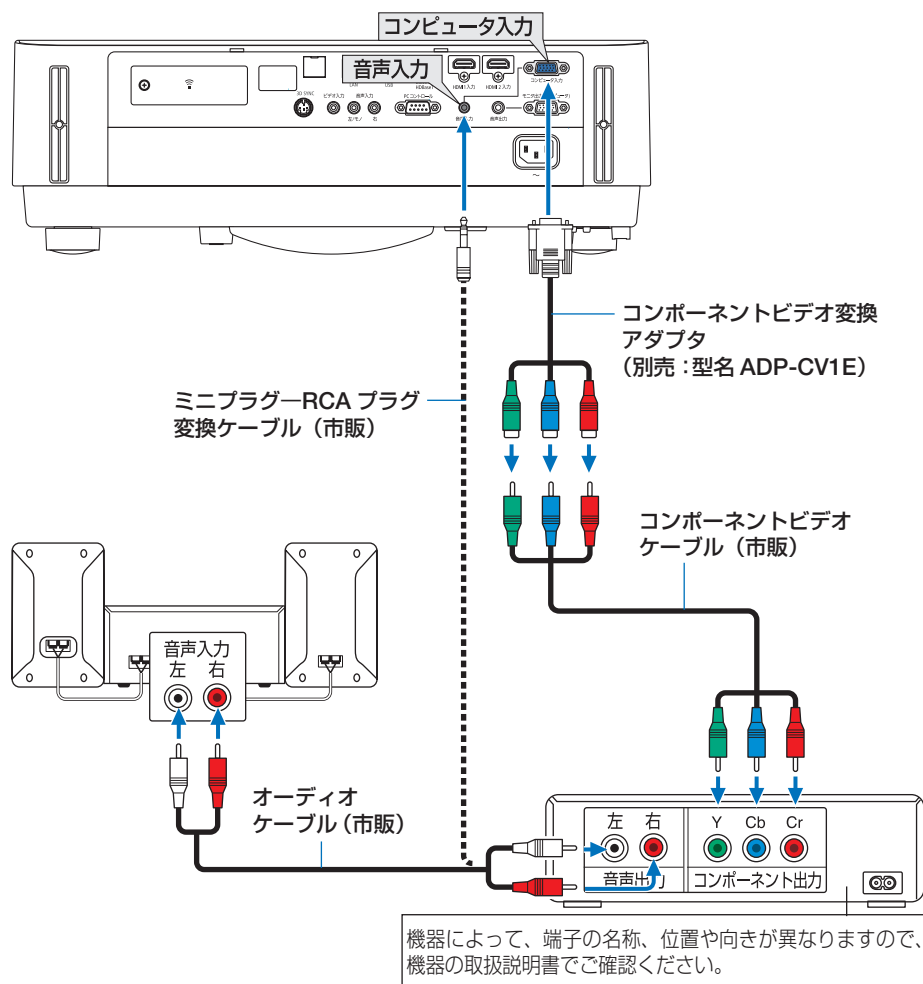
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	●ビデオ	(ビデオ)

## コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。

DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

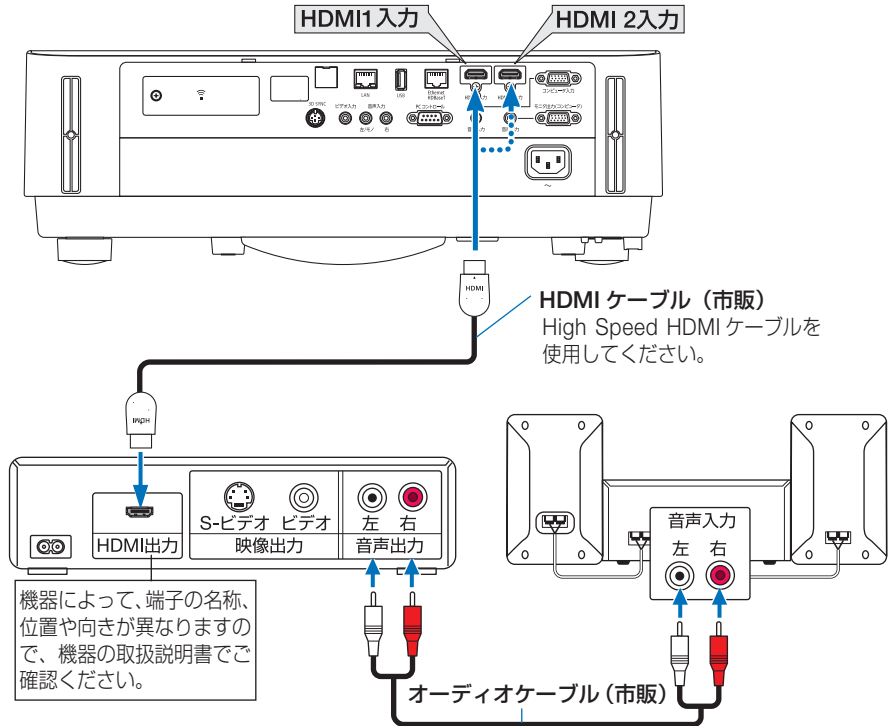
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	コンピュータ	(コンピュータ1)



- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ (型名 ADP-DT1E) をお使いください。

## デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

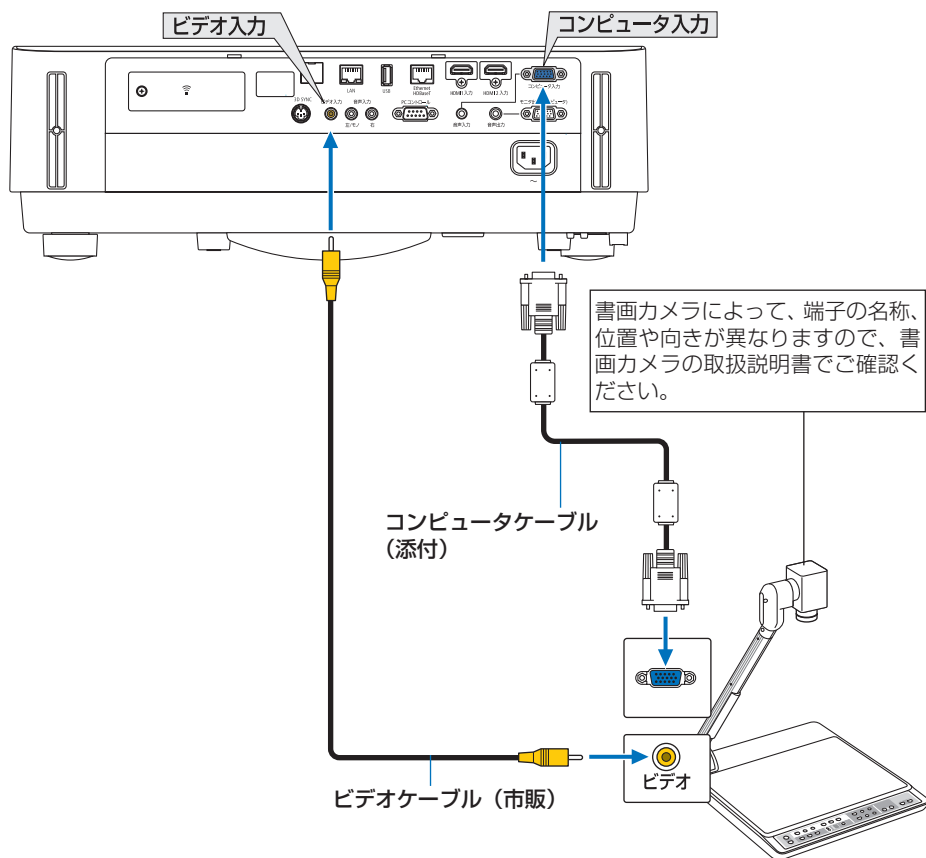
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI 2)

### 参考



- 本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤを接続している場合に、DVD プレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→HDMI1 または HDMI2 →ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1 入力(または HDMI 2 入力)の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択が「HDMI1」または「HDMI2」に設定されているか確認してください。 (▶ 81 ページ)

## 5-4. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

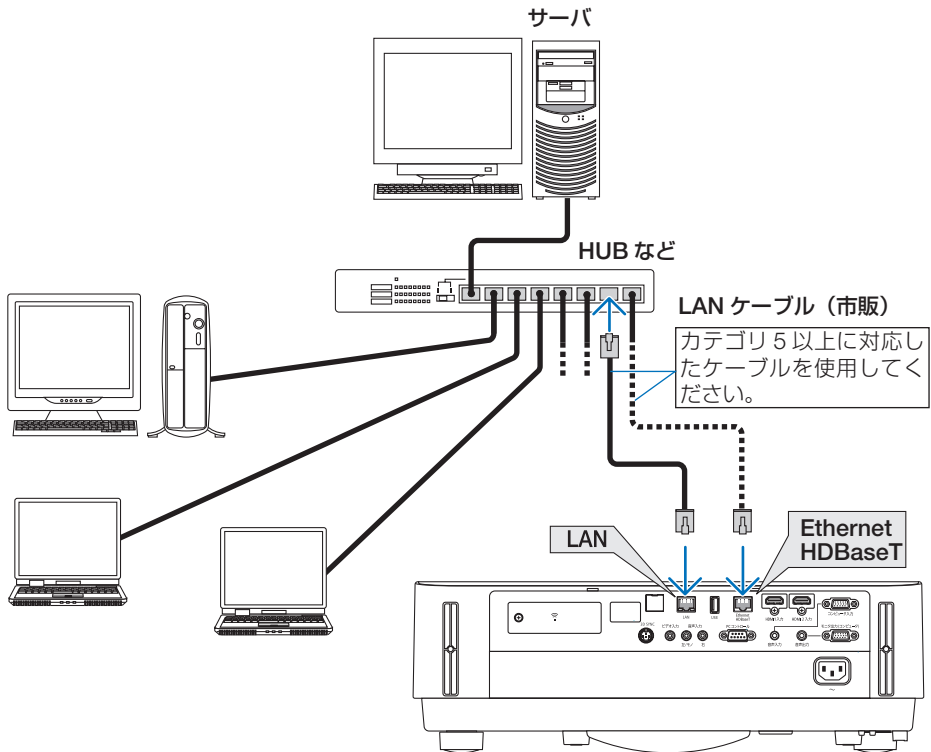
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ)
ビデオ映像入力端子	 ビデオ	(ビデオ)



## 5-5. 有線 LAN と接続する

本機には Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45) と LAN ポートが標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定はオンスクリーンメニュー→セットアップ→設置→ネットワーク設定で行ってください。(▶107 ページ)  
ネットワーク設定は、APPS メニューからも選択できます。

### 接続例



#### ● 本機の Ethernet/HDBaseT ポートと LAN ポートについて

Ethernet/HDBaseT ポートと LAN ポートは HDBaseT 機能以外は同じです。LAN 環境との接続はどちらか 1 つのポートに接続できます (LAN 環境に 2 つのポートを接続することはできません)。

LAN ポートは制御信号未対応 (または本機に接続できない) の HDBaseT 伝送機器から本機を制御するとき、ネットワークを経由して本機を制御するときに接続します。また、ネットワークスタンバイ時に本機をネットワーク経由で制御する場合 LAN ポートへ接続してください。

## 5-6. 無線 LAN と接続する

添付の無線 LAN ユニット（工場出荷時は本体に取り付けてあります。）により、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。



- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。

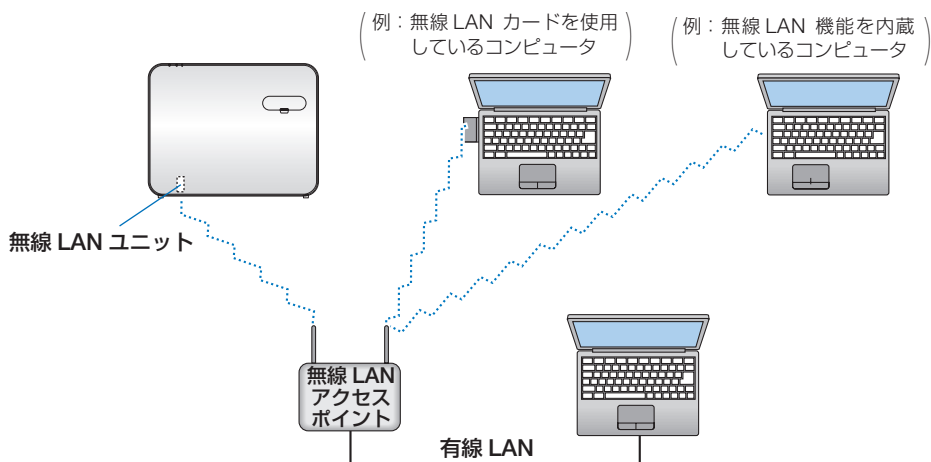


- コンピュータ側の無線 LAN アダプタ（またはユニット）は、Wi-Fi（IEEE802.11a/b/g/n）規格のものを使用してください。

### 無線 LAN への接続例

本機の無線 LAN の設定は、オンスクリーンメニューのセットアップ→設置→ネットワーク設定で行ってください。（📄 107 ページ）

ネットワーク設定は、APPS メニューからも選択できます。



## 無線 LAN ユニットの取り外しかた



- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- 無線 LAN カバーの中にある USB（無線 LAN）ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けしないでください。また、USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けしないでください。

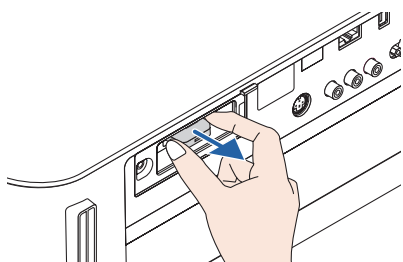
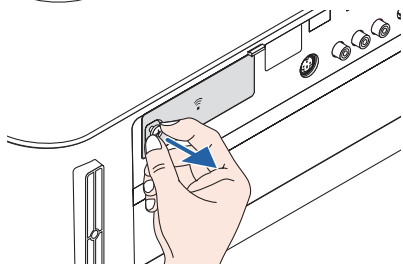
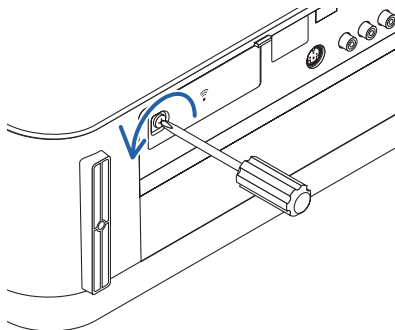
**1** 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

**2** 無線 LAN カバーを取り外す。

- ① ネジを空転するまで左へ回します。
  - ・ネジは外れません。

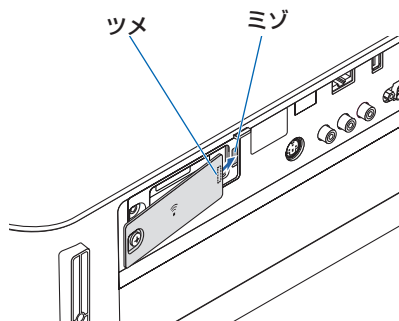
- ② ネジの頭を持って取り外します。

**3** 無線 LAN ユニットの指で持って引き抜く。

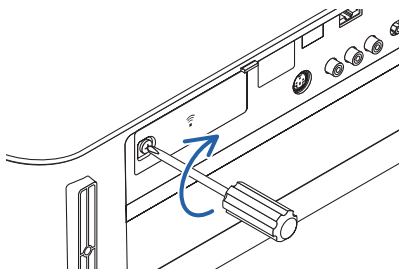


#### 4 無線 LAN カバーを取り付ける。

- ① カバーの裏にあるツメを本体のミゾに入れて、無線 LAN カバーを閉めます。

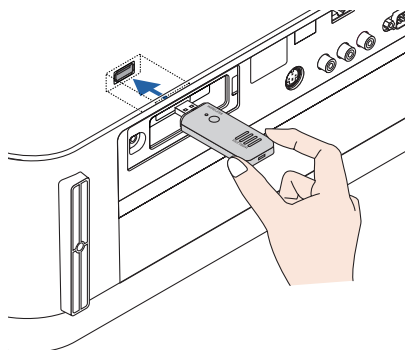


- ② ネジを右へ回して固定します。



※ 無線 LAN ユニットを取り付ける場合はインジケータのある面を上向きにして USB (無線 LAN) ポートに差し込んでください。

- 無線 LAN ユニットの左右上下にゆっくりスライドさせて差し込み口を確認してから押し込んでください。



**注意**

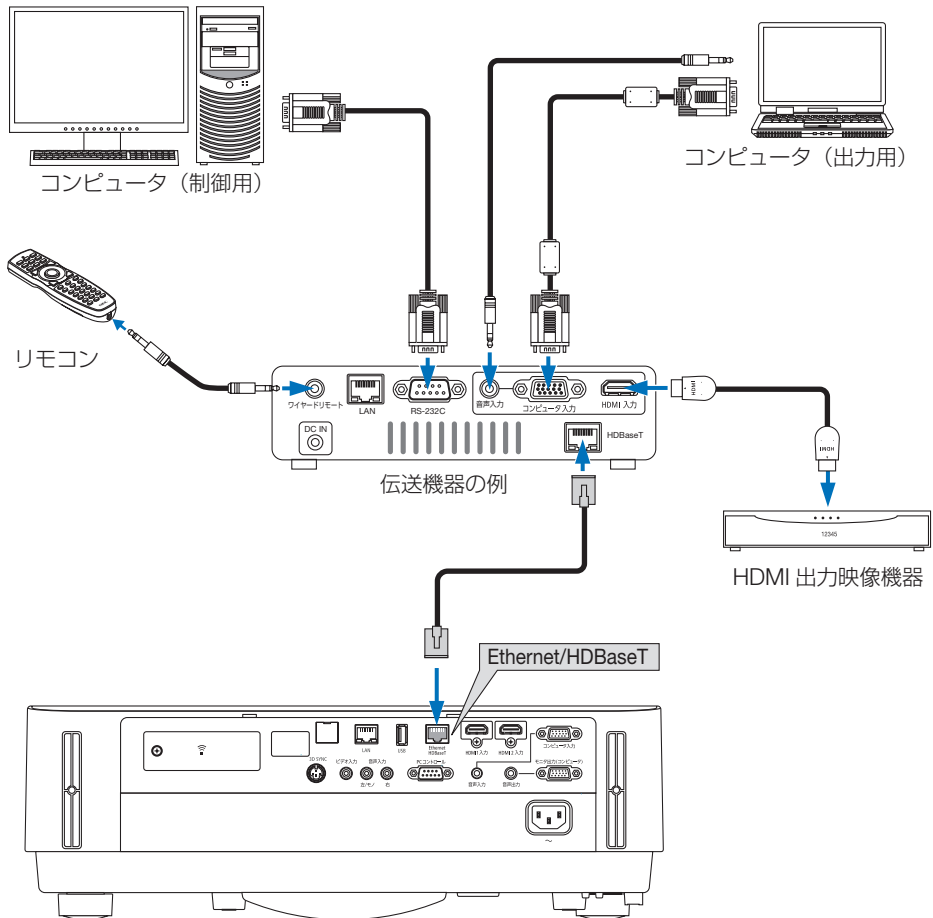
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。

## 5-7. HDBaseT 対応の伝送機器 (市販) と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45) を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号 (HDCP 対応)、外部機器からの制御信号 (シリアル、LAN)、リモコン信号 (IR コマンド) に対応しています。

### 接続例

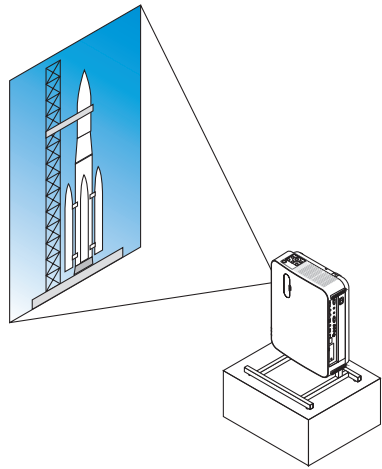


**注意**

- LAN ケーブル（市販）は、カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

## 5-8. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦設置することでコンピュータなどのポートレート画面を投写することができます。なお、オンスクリーンメニュー画面など、すべて反時計方向に回転した表示になります。本体は設置状態を自動で検知するセンサを搭載しています。



### 設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。
- 縦設置は吸気口を下方に向けて設置します。このため本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。

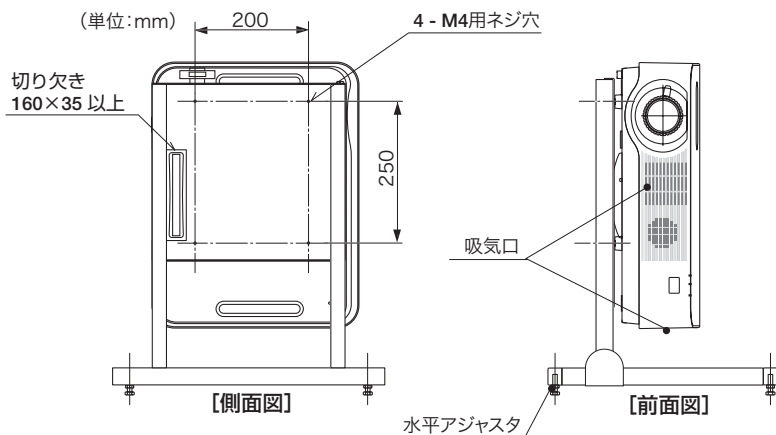
## スタンド設計製作の条件

ポートレート投写をするには専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをご守りください。

1. 床と本体吸気口の距離 100mm 以上確保してください。  
本体前面の吸気口をパネルなどで塞がないでください。
2. 本体底面にある 4 箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。  
ネジ穴センター寸法：200 × 250mm  
本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm  
※ 本体底面後部のリアフットがスタンドにぶつからないように設計してください。前方の脚は回して外すことができます。
3. 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4 箇所）
4. スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

### 参考図

※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。





# 6. APPS メニュー

## 6-1. APPS メニューでできること

APPS メニューでは、本機の拡張機能や各種設定を選択することができます。APPS メニューを表示するには、リモコンの(APPS)ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「APPS」を選択します。

### 【お知らせ】

APPS メニューの各機能について、当社のホームページにより詳しい説明書を掲載しています。本機の機種名で検索してください。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

### 【APPS メニュー画面】

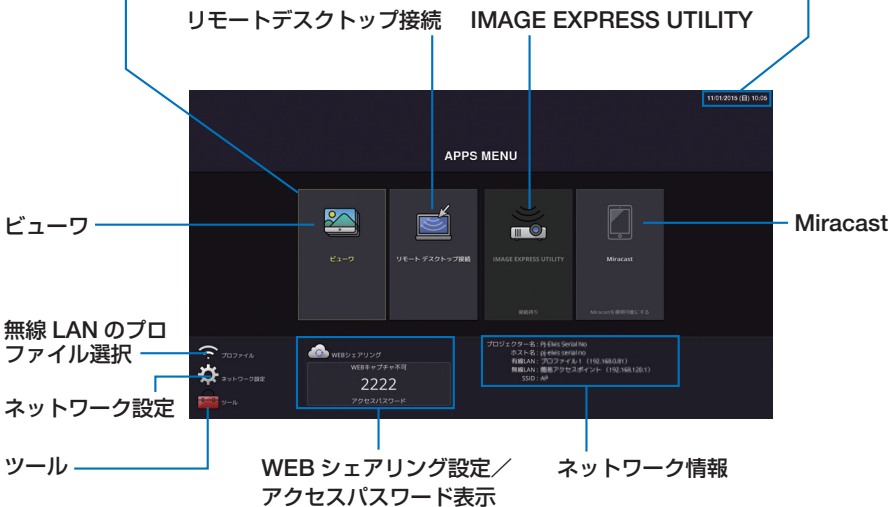
#### フォーカス

選択されている項目を表します。  
黄色い縁どりで表示されます。

#### 現在の日付と時刻



APPS メニューの機能を使用する前に、日付と時刻を設定してください。(108 ページ)



- 本機がネットワークに接続していないとき、「リモートデスクトップ接続」、「IMAGE EXPRESS UTILITY」、「Miracast」、「WEB シェアリング」は選択できません。

## ビューワ

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。次の3つを使用できます。

- (1) プロジェクターメモリ… 本機の内蔵メモリに一時保存した画像や動画。
- (2) USB メモリ …………… 本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。

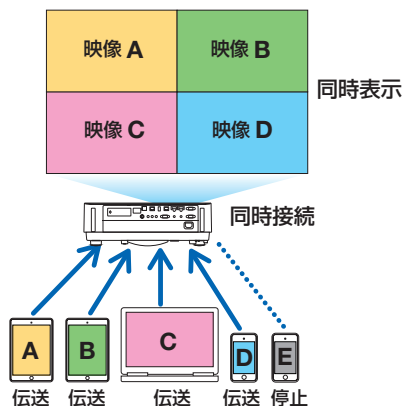
## リモートデスクトップ接続

プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。

市販の USB キーボードを本機に接続することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作できます。

## IMAGE EXPRESS UTILITY

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、OS X、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4 × 4 分割）して一度に投写することができます。



- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。(▶ 111, 114 ページ)
- スマートフォンやタブレット端末には、当社のアプリ Wireless Image Utility をダウンロードしてインストールしてください。(▶ 130 ページ)

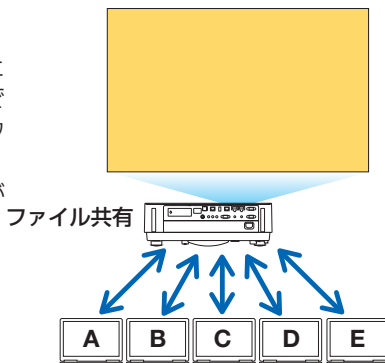
## Miracast

Android 端末などの Miracast 規格に対応したデータ送信端末と本機をワイヤレスで接続し、端末から送信される画像を本機で投写することができます。  
接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

## WEB サーバ機能

### ● WEB シェアリング

専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機の WEB サーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます。



### ● IMAGE EXPRESS UTILITY

アプリケーションソフト Image Express Utility Lite で同時表示した各端末の画面の表示位置を、コンピュータのブラウザ画面を通して制御することができます。分割数、表示ページなど、細かい制御が可能です。

※「ネットワーク設定」→「IMAGE EXPRESS UTILITY」の動作モードで「管理」を設定しているときに使用できます。

また、Image Express Utility Lite から送信した画像をプロジェクター（本機）で投写している必要があります。

### ● プロジェクターコントロール

コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます。

### ● WEB サーバへのアクセス方法

プロジェクター（本機）とコンピュータをネットワークで接続し、コンピュータのウェブブラウザで次の URL にアクセスしてください。

URL: <http://>（プロジェクター（本機）の IP アドレス）

## ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための以下の設定を行います。

### ● プロジェクター名

本機のプロジェクター名とホスト名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

## ●ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

## ●有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

## ●無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

また、簡易アクセスポイント、Wi-Fi Direct、Miracast の設定を行います。

## ●IMAGE EXPRESS UTILITY

IMAGE EXPRESS UTILITY の動作モード（フリー、管理）を設定します。

## ●ネットワークサービス

AMX、HTTP サーバ、PJLink、アラートメール、CRESTRON のための設定を行います。

## ツール

以下のマウス設定、プログラムタイマー、日付と時刻設定、管理者モード、デフォルト APP が行えます。

## ●マウス設定

市販の USB マウスを本機に接続すると、マウスを使用して APPS メニューの操作ができます。

このときのマウスの設定です。

## ●プログラムタイマー

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン / スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。

## ●日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

## ●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効 / 無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

## ●デフォルト APP

「APPS」端子以外が選択されていると、「APPS」端子に切り替えたときに、デフォルト APP で選択した機能が自動的に起動します。

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

# 7. ユーザサポートウェア

## 7-1. 添付ソフトウェアについて

### 添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Image Express Utility Lite Image Express Utility Lite for Mac	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。 (👉 110 ページ)</li><li>● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入 / 切や信号切替などの操作を行うことができます。</li><li>● 幾何学補正機能を使うと、平面ではない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(👉 116 ページ) ※「幾何学補正」の機能は Mac には対応していません。</li></ul>
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）やシリアルケーブルを使って接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(👉 119 ページ)</li></ul>
Virtual Remote Tool (Windows のみ対応)	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータの画面に Virtual Remote 画面を表示し、コンピュータケーブルなどを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入 / 切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。(👉 124 ページ)</li></ul>



- Image Express Utility Lite は、当社製の他の機種に添付している Image Express Utility 2.0 の「ミーティングモード」には対応していません。

### ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報および動作環境については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

### 対応しているアプリの主な機能

アプリ名：Wireless Image Utility (Android / iOS)

主な機能：プロジェクターとスマートフォンをネットワーク（無線 LAN）を使って接続すると、スマートフォン内の写真や文書をプロジェクターへ伝送して投写することができます。(👉 130 ページ)

※ Wireless Image Utility は、添付の CD-ROM には収録していません。

## 7-2. LAN を経由して画像を投写する (Image Express Utility Lite)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite を使用すると、コンピュータからネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。

**Image Express Utility Lite は、Windows 用のソフトウェアです。** (🔗 [次ページ](#))  
**Image Express Utility Lite for Mac は、OS X 用のソフトウェアです。**

(🔗 [114 ページ](#))

本機を LAN に接続して、Image Express Utility Lite を使用するまでの流れを説明します。Image Express Utility Lite の詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

ステップ②：本機を LAN に接続する

ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する



- Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアから起動して使用することができます。 (🔗 [114 ページ](#))

### Image Express Utility Lite (および for Mac) で できること

#### ● 画像伝送 (Windows 用 / Mac 用)

- ・コンピュータケーブルを接続する代わりに、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使ってコンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。

#### ● 音声伝送 (Windows 用のみ)

- ・コンピュータの画面に加えて、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使って、コンピュータの音声をプロジェクターへ伝送して出力することができます。
- ・コンピュータの画面がプロジェクターで全画面表示されている場合にその音声が出力されません。

#### ● 幾何学補正 (Geometric Correction Tool) (Windows 用のみ)

- ・「7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)」をご覧ください。 (🔗 [116 ページ](#))

## Windows で使用する場合

### ●ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

#### 注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Image Express Utility Lite は、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



#### 参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

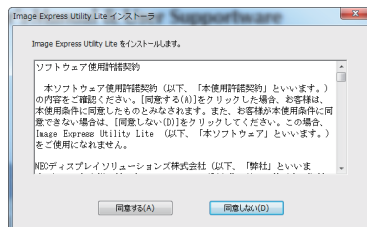
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 \*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)  
\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

### 2 メニューウィンドウの [Image Express Utility Lite をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

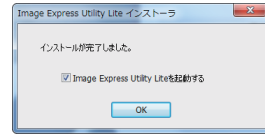


### 3 同意する場合は「同意する (A)」をクリックする。

インストールが完了すると完了メッセージが表示されます。

### 4 [OK] をクリックする。

インストールが終了しました。



### 参考

#### ● Image Express Utility Lite のアンインストール方法

Image Express Utility Lite をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「Image Express Utility Lite」と読み替えてください。(🔗 [126 ページ](#))

## ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」(🔗 [97 ページ](#))、「5-6. 無線 LAN と接続する」(🔗 [98 ページ](#))、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗 [107 ページ](#)) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

### 1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility Lite] → [Image Express Utility Lite] の順にクリックする。

Image Express Utility Lite が起動します。  
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されます。

### 2 使用するネットワークを選択し、[OK] をクリックする。

- コンピュータとプロジェクターを 1 対 1 で接続する場合は「簡易アクセスポイント」をおすすめします。
- 接続するプロジェクターが使用しているネットワークを確認するには、プロジェクターのオンスクリーンメニューの [情報] → [無線 LAN] 画面を表示し、「SSID」の文字列を確認してください。

### 3 接続するプロジェクターにチェックマークを付け、[接続 (C)] をクリックする。

- 複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターの APPS メニューのネットワーク情報画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。

プロジェクターと接続すると、画面の上部に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。

コントロールウィンドウを操作してコンピュータをコントロールできるようになります。



## 4 コントロールウィンドウを操作する。



名称	説明
①  (ストリーミング)	(本機では使用できません。)
②  (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
③  (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、 <a href="#">116 ページ</a> をご覧ください。
④  (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
⑤  (その他)	更新、HTTP サーバ、設定、情報が行えます。
⑥  (投写)	投写画面の切り替え、非表示/表示、割り込み禁止/許可、終了が行えます。
⑦  (ヘルプ)	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。

### 注意



- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定して、電源をオフにしている状態のプロジェクターは、接続先選択に表示されません。

### 参考

- Image Express Utility Lite のヘルプ表示方法
  - ◆ Image Express Utility Lite の起動中に表示する
    - 1 コントロールウィンドウの (ヘルプ) をクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。
  - ◆ GCT (幾何学補正) の起動中に表示する
    - 1 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする  
ヘルプ画面が表示されます。
  - ◆ スタートメニューから表示する
    - 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Image Express Utility Lite」→「Image Express Utility Lite Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## ● USB メモリや SD カードから Image Express Utility Lite を起動する

市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーしておけば、コンピュータにインストールすることなく、Image Express Utility Lite を起動することができます。

- 1 リムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーする。**  
添付の NEC Projector CD-ROM 内の「IEU\_Lite (removable-media)」フォルダ内の全てのフォルダおよびファイル（ファイルサイズ合計約 7 MB）をリムーバブルメディアのルートディレクトリにコピーします。
- 2 コンピュータにリムーバブルメディアを挿入する。**  
「自動再生」ウィンドウが表示されます。  
 **参考** ● 「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピュータ」からフォルダを開いてください。
- 3 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックする。**  
IEU\_Lite.exe およびその他のフォルダやファイルが表示されます。
- 4 IEU\_Lite.exe アイコン (  ) をダブルクリックする。**  
Image Express Utility Lite が起動します。

## OS X で使用する場合

- ステップ①：Image Express Utility Lite for Mac をコンピュータにインストールする**
- 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。**  
デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。
- 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。**  
CD-ROM のウィンドウが表示されます。
- 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。**
- 4 「Image Express Utility Lite.dmg」をダブルクリックする。**  
Image Express Utility Lite ウィンドウが表示されます。
- 5 このウィンドウ内の「Image Express Utility Lite」フォルダを OS X の「アプリケーション」フォルダにドラッグ・アンド・ドロップする。**

## ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」(🔗97 ページ)、「5-6. 無線 LAN と接続する」(🔗98 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗107 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：Image Express Utility Lite for Mac を起動する

**1** OS X の「アプリケーションフォルダ」を開く。

**2** 「Image Express Utility Lite」フォルダをダブルクリックする。

**3** 「Image Express Utility Lite」アイコンをダブルクリックする。

Image Express Utility Lite for Mac が起動すると、接続先選択ウィンドウが表示されます。

- 初回起動時には、接続先選択ウィンドウが表示される前に使用許諾契約ウィンドウが表示されます。  
使用許諾契約書の内容をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し [OK] をクリックしてください。

**4** 接続先選択ウィンドウで、プロジェクターを選択し、[接続] をクリックする。

デスクトップ画面がプロジェクターから投写されます。

### 参考

#### ● Image Express Utility Lite for Mac のヘルプ表示方法

##### ◆ Image Express Utility Lite for Mac の起動中に表示する

- 1** メニューバーの「ヘルプ」→「Image Express Utility Lite ヘルプ」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

#### ●ソフトウェアのアンインストール方法

**1** 「Image Express Utility」フォルダをゴミ箱に入れる。

**2** Image Express Utility の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる

- Image Express Utility Lite for Mac の環境設定ファイルは、「/ ユーザ / あなたのユーザ名 / ライブラリ / Preferences / jp.necds.Image-Express-Utility-Lite.plist」にあります。

## 7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)

Image Express Utility Lite の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

### 幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の 3 つの機能があります。
  - ・ 4 点補正 …………… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることで、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
  - ・ 多点補正 …………… 4 点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことにより、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
  - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4 点補正について説明します。



多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(🔗 113 ページ)

- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピュータに保存し、必要なときに呼び出すことができます。
- 幾何学補正は、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN)、映像ケーブルでの接続時に使用できます。

### スクリーンに斜め方向から投写する (4 点補正)

コンピュータに Image Express Utility Lite をインストールして起動し、コントロールウィンドウを表示してください。(🔗 111, 113 ページ)

**準備:** スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整してください。


- 1**  (その他) アイコンをクリックし、  
 (設定) アイコンをクリックする。  
環境設定画面が表示されます。



- 2 「複数接続機能を使用する」をクリックし、チェックマークを外す。





- 3 「OK」をクリックする。

- 4  (投写) アイコンをクリックし、  
 (終了) アイコンをクリックする。

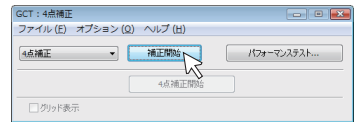
- 5 「はい」をクリックする。


- 6 再度、Image Express Utility Lite を起動する。


- 7  (映像) アイコンをクリックし、  
 (GCT) アイコンをクリックする。  
4点補正編集ウィンドウが表示されます。



- 8 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする。



投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「」が表示されます。

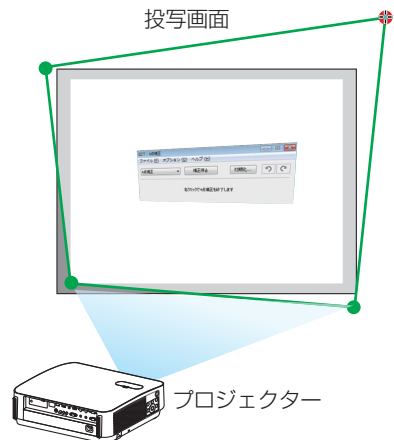
- ・ 緑色の枠の4つの角には「」が表示されます。

- 9 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「」をクリックする。

- ・ 選択されている「」は赤色になります。

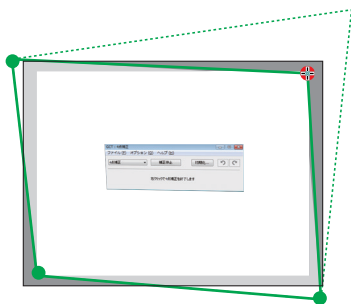


(Windows の画面は省略しています)

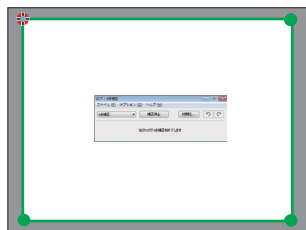


**10** 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。

- ・ 投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。




**11** 9、10 の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。




**12** 調整が終わったら、マウスを右クリックする。


投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

**13** 4点補正編集ウィンドウの  をクリックする。

4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

**14** コントロールウィンドウの  (終了) アイコンをクリックして終了する。

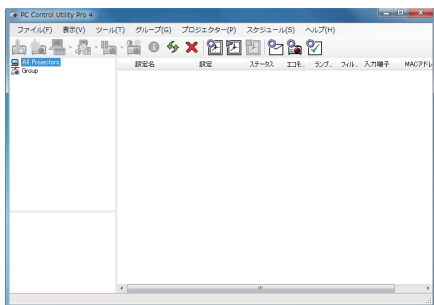
**参考**

- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4点補正編集ウィンドウの詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(  113 ページ)

## 7-4. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。([次ページ](#))  
PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。([122 ページ](#))



PC Control Utility Pro 4 画面

### ● 主な制御機能

電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、  
映像ブランク、音声ミュート、調整、  
エラー通知メール、イベントスケ  
ジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする
- ステップ②：本機を LAN に接続する
- ステップ③：ソフトウェアを起動する

### 注意

- Windows 8.1、Windows 8 において PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

### 参考

- PC Control Utility Pro 4 は、本機の PC コントロール端子と接続する RS-232C シリアル通信での制御も可能です。

## Windows で使用する場合

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 4 をコンピュータにインストールする

#### 注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



#### 参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

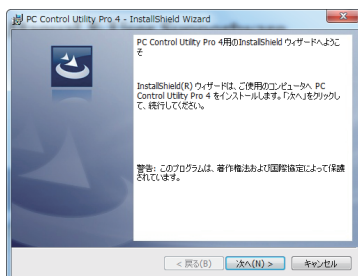
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名\*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)  
\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

### 2 メニューウィンドウの [PC Control Utility Pro 4 をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



### 3 「次へ (N)>」 をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。  
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください



**4** 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。



**参考**

● PC Control Utility Pro 4 のアンインストール方法

PC Control Utility Pro 4 をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「PC Control Utility Pro 4」と読み替えてください。(🔗 126 ページ)

● **ステップ②**：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」(🔗 97 ページ)、「5-6. 無線 LAN と接続する」(🔗 98 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗 107 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

● **ステップ③**：PC Control Utility Pro 4 を起動する

- 1** Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

**注意**

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。  
**【例】Windows 7 の場合：**  
[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [電源オプション] → [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更] の [コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定します。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

**参考**

● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法

- ◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する
  - 1** PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

次ページに続く

◆スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 または 「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「PC Control Utility Pro 4」 → 「PC Control Utility Pro 4 Help」 の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



## Mac で使用する場合

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 5 をコンピュータにインストールする

- 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

- 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

- 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

- 4 「PC Control Utility Pro 5.pkg」をダブルクリックする。

インストーラがスタートします。

- 5 「続ける」をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。

- 6 記載内容を確認し、「続ける」をクリックする。

確認ウィンドウが表示されます。

- 7 「同意する」をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

### ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」(☉97 ページ)、「5-6. 無線 LAN と接続する」(☉98 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (☉107 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

### ●ステップ③：PC Control Utility Pro 5 を起動する

- 1 OS X の「アプリケーションフォルダ」を開く。

- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。

- 3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。

PC Control Utility Pro 5 が起動します。

**注意**

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

**参考****● ソフトウェアのアンインストール方法**

- 1 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをゴミ箱に入れる。
- 2 PC Control Utility Pro 5 の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる
  - ・ PC Control Utility Pro 5 の設定ファイルは、「/Users (ユーザ)/ あなたのユーザ名 /Application Data/NEC Projector User Supportware/PC Control Utility Pro 5」にあります。

**● PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法****◆ PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する**

- 1 メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

**◆ Dock から表示する**

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
- 3 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## 7-5. コンピュータケーブルを使って本機を操作する (Virtual Remote Tool)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面 (リモコンウインドウまたはツールバー) を表示し、コンピュータケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

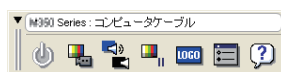
### 【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

### ●主な制御機能

- ・電源の入/切
  - ・入力信号切替
  - ・映像・音声のミュート
  - ・投写中の動画を静止する
  - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作



ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。

([🔵 129 ページ](#))

ステップ① : Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする ([🔵 次ページ](#))

ステップ② : プロジェクターとコンピュータを接続する ([🔵 127 ページ](#))

ステップ③ : Virtual Remote Tool を起動する ([🔵 128 ページ](#))

### 注意

- Windows 8.1、Windows 8 において Virtual Remote Tool を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。
- 入力端子選択で「コンピュータ」を選択しているときは、コンピュータの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときには、添付のコンピュータケーブルを使って、コンピュータ映像入力端子とコンピュータの映像出力端子を直接接続してください。市販のコンピュータケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピュータの仕様、およびグラフィックアダプタやドライバのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ (画像) には以下の条件があります。
  - \* ファイルサイズ : 768 キロバイト未満
  - \* 画像サイズ :
    - NP-P502HLJD…水平 1920 ドット, 垂直 1080 ドット 以内
    - NP-P502WLJD…水平 1280 ドット, 垂直 800 ドット 以内

- ログ画像の送信は、シリアル接続のときに行えます。LAN またはコンピュータケーブル接続時にはできません。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。  
このとき、ご使用の機種に合わせて下記のロゴを選択してください。  
NP-P502HLJD … ¥Logo¥NEC\_logo2012\_1920x1080.bmp  
NP-P502WLJD … ¥Logo¥NEC\_logo2011\_1280x800.bmp

**参考**

- 本機のコンピュータ映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピュータ間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）およびシリアル接続での制御も可能です。

## ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする

**注意**

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



**参考**

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

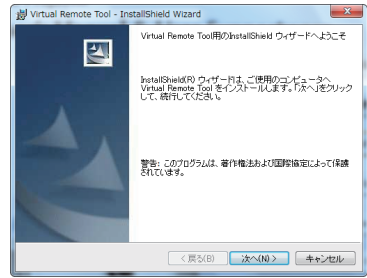
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 \*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)  
\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

## 2 メニューウィンドウの [Virtual Remote Tool をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

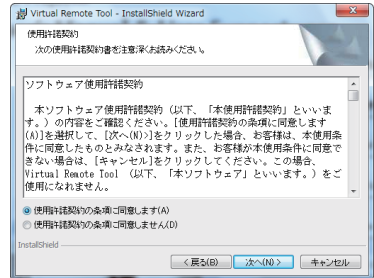
インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



## 3 「次へ(N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください



## 4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します(A)」をクリックし、「次へ(N)>」をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

### 注意

- インストール先のフォルダを選択する画面で「デスクトップにショートカットを作成する(D)」をクリックしてチェックマークを外した場合、ショートカットは表示されません。

### 参考

#### ● Virtual Remote Tool のアンインストール方法

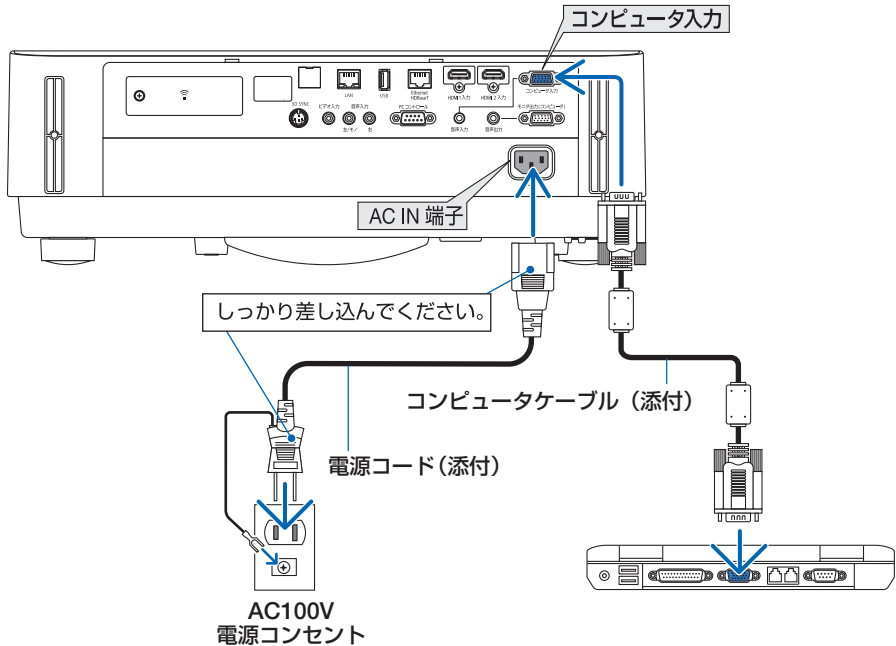
準備：アンインストールの前に、Virtual Remote Tool を終了してください。  
アンインストールの際は、「管理者」権限で行ってください。

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。  
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。  
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
  - ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行(C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

## ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する


- 1 プロジェクターのコンピュータ映像入力端子とコンピュータのディスプレイ出力端子を添付のコンピュータケーブルで接続する。
- 2 プロジェクターの AC IN 端子と AC100V のコンセントを添付の電源コードで接続する。  
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

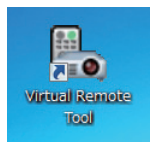


- Virtual Remote Tool を最初に起動すると、かんたんセットアップ画面で機器の接続をガイドします。
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。(● 149 ページ)

## ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する

### ◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン  をダブルクリックする。



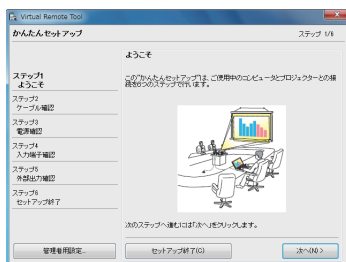
### ◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

### 起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



かんたんセットアップを終了すると、Virtual Remote 画面が表示されます。



### 注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、コンピュータケーブルおよびネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。


### 参考

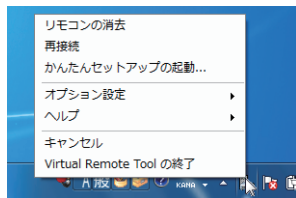
- .....  
かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面を表示することができます。  
かんたんセットアップ「ステップ 6」画面の「次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けてください。

次ページに続く




## ● Virtual Remote Tool の終了方法

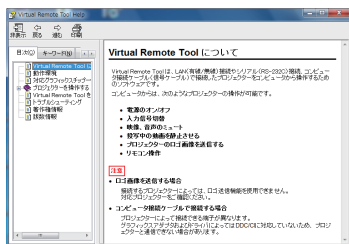
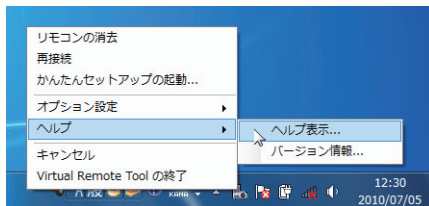
- 1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。  
Virtual Remote Tool が終了します。



## ● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

### ◆タスクトレイから表示する

- 1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「ヘルプ」 → 「ヘルプ表示」をクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



### ◆スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」または「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「Virtual Remote Tool」 → 「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## 7-6. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する (Wireless Image Utility)

Wireless Image Utility を使用すると、スマートフォンやタブレットからプロジェクターへ、ネットワーク（無線 LAN）を経由して写真や文書を伝送して投写することができます。

Wireless Image Utility は、Android 用と iOS 用があり、各々 Google Play または App Store からダウンロードしてください。

Wireless Image Utility について詳しくは次のホームページをご覧ください。

- **Android 用**

[http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/android/wiu\\_for-android.html](http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/android/wiu_for-android.html)

- **iOS 用**

[http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/ios/wiu\\_for-ios.html](http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/ios/wiu_for-ios.html)

## 8. 本体のお手入れ

### 8-1. レンズの清掃

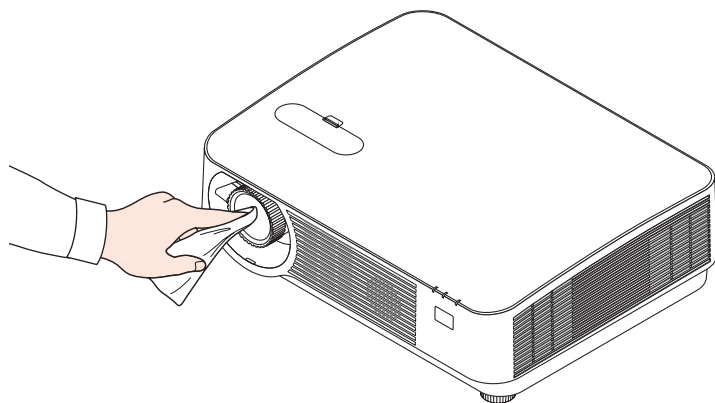
本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。

オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



**警告**

レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



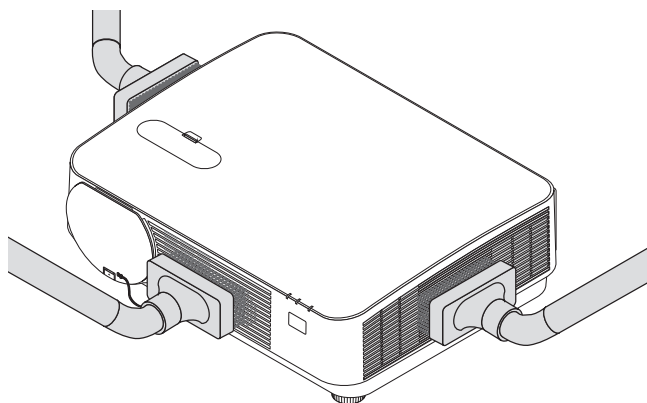
**注意**

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

## 8-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風口やスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。

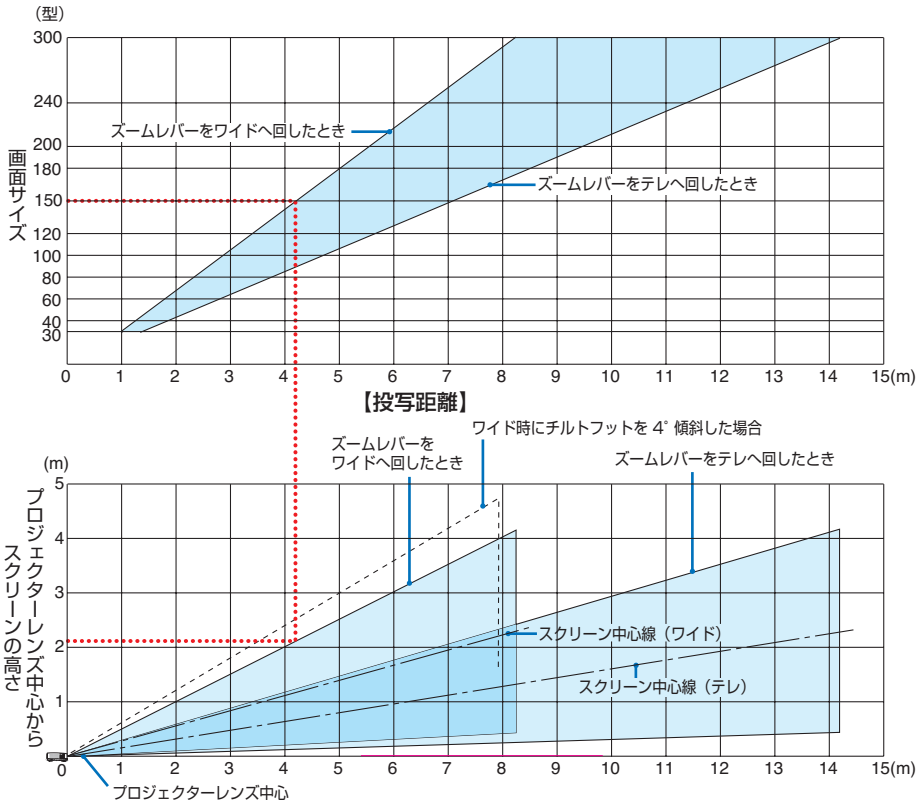
# 9. 付 録

## 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさに投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

### 適応機種 NP-P502HIJD

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.79m（30 型の場合）～ 14.19m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



※投写距離表の「プロジェクターレンズ中心からスクリーンの高さ」はレンズシフト 62% V のときを表しています。

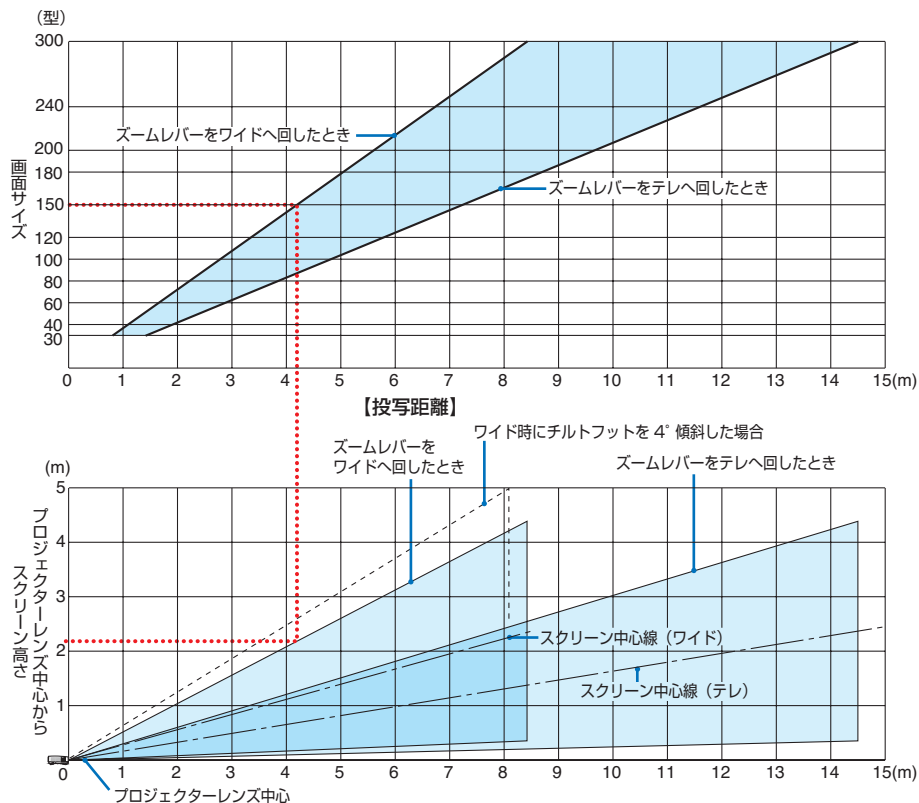
【表のみかた】

前ページ上の表より 150 型スクリーンにワイドで投写するには表より、4.1m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 2.1m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。(▶ 36 ページ)

**適応機種 NP-P502WLJD**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.81m（30 型の場合）～ 14.50m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



※ 投写距離表の「プロジェクターレンズ中心からスクリーンの高さ」はレンズシフト 59% V のときを表しています。

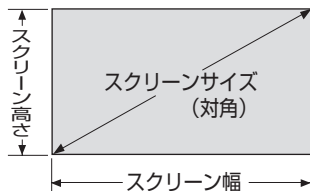
【表のみかた】

上の表より 150 型スクリーンにワイドで投写するには表より、4.2m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 2.2m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。(▶ 36 ページ)

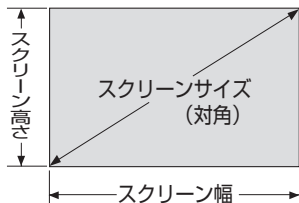
## スクリーンサイズと寸法表

### 適応機種 NP-P502HLJD



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	66.4	37.4
40	88.6	49.8
50	110.7	62.3
60	132.8	74.7
80	177.1	99.6
100	221.4	124.5
120	265.7	149.4
150	332.1	186.8
200	442.8	249.1
250	553.4	311.3
300	664.1	373.6

### 適応機種 NP-P502WLJD



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
50	107.7	67.3
60	129.2	80.8
80	172.3	107.2
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
250	538.5	336.5
300	646.2	403.9

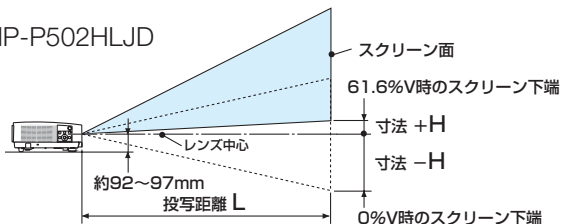
## デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……（下表参照）

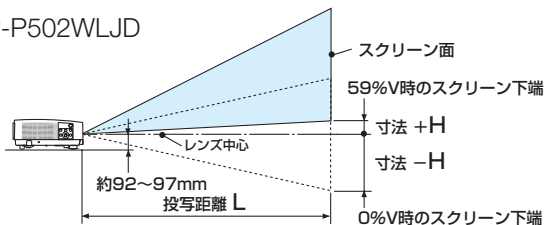
適応機種 NP-P502HLJD



(注)レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	0% V ~ 62% V
30	0.79	1.39	-18.7 ~ +4.3
40	1.07	1.86	-24.9 ~ +5.8
50	1.34	2.34	-31.1 ~ +7.2
60	1.62	2.81	-37.4 ~ +8.7
80	2.17	3.76	-49.8 ~ +11.6
100	2.72	4.71	-62.3 ~ +14.5
120	3.28	5.66	-74.7 ~ +17.4
150	4.11	7.08	-93.4 ~ +21.7
200	5.49	9.45	-124.5 ~ +28.9
250	6.87	11.82	-155.7 ~ +36.2
300	8.25	14.19	-186.8 ~ +43.4

適応機種 NP-P502WLJD



(注)レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	0% V ~ 59% V
30	0.81	1.42	-20.2 ~ +3.4
40	1.09	1.90	-26.9 ~ +4.6
50	1.37	2.39	-33.7 ~ +5.7
60	1.66	2.87	-40.4 ~ +6.9
80	2.22	3.84	-53.8 ~ +9.2
100	2.78	4.81	-67.3 ~ +11.5
120	3.35	5.78	-80.8 ~ +13.8
150	4.19	7.23	-101.0 ~ +17.2
200	5.60	9.65	-134.6 ~ +23.0
250	7.01	12.08	-168.3 ~ +28.7
300	8.43	14.50	-201.9 ~ +34.5



## レンズシフト範囲

本機にはダイヤル操作で画面位置を調整するレンズシフト機能 (🔗 36 ページ) があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

レンズシフト範囲 垂直方向：+ 62%、- 0%  
水平方向：± 25%



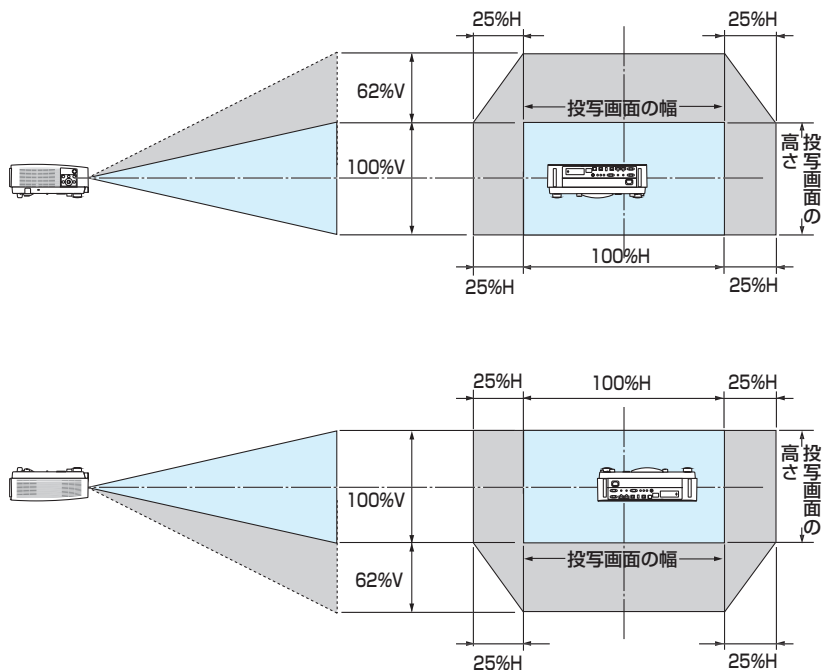
- レンズシフトの移動量が下図の範囲を超えている場合、画面の端がぼやけたり、影が出たりすることがあります。

記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表わし、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

対応機種

NP-P502HLJD

レンズシフト範囲 垂直方向：+ 62%、- 0%  
水平方向：± 25%



(計算例) 150 インチで投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」 (🔗 135 ページ) のスクリーン表により  $H=332.1\text{cm}$ 、 $V=186.8\text{cm}$  になります。

垂直方向の調整範囲：上方向  $0.62 \times 186.8\text{cm} \approx 115\text{cm}$ 、投写画面を移動することができます (レンズが中心位置の場合)。

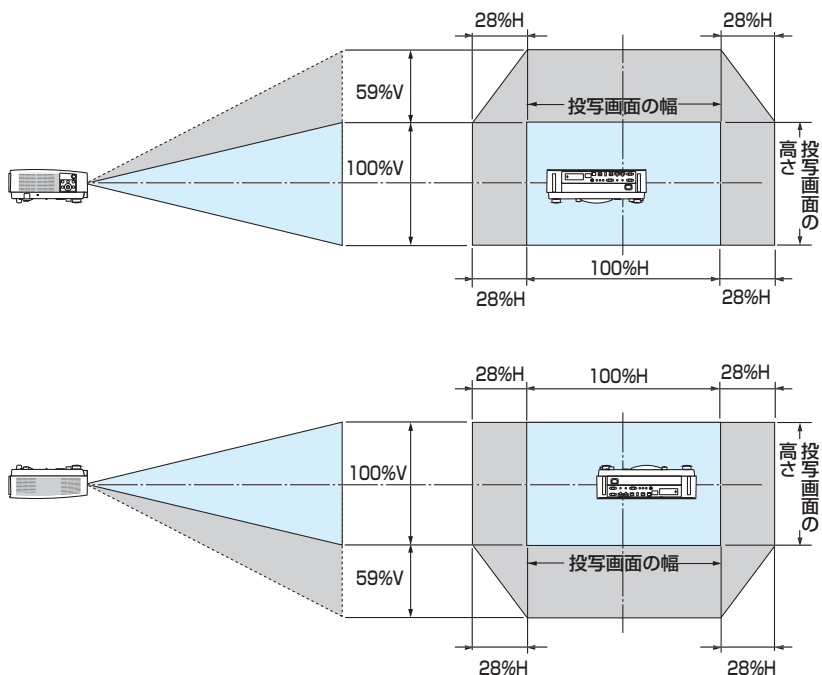
水平方向の調整範囲：左方向  $0.25 \times 332.1\text{cm} \approx 83\text{cm}$ 、右方向も同様に約 83cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

適応機種 NP-P502WLJD  
 レンズシフト範囲

垂直方向：+ 59%、- 0%

水平方向：± 28%



(計算例) 150 インチで投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」(135 ページ) のスクリーン表により H=323.1cm、V=201.9cm になります。

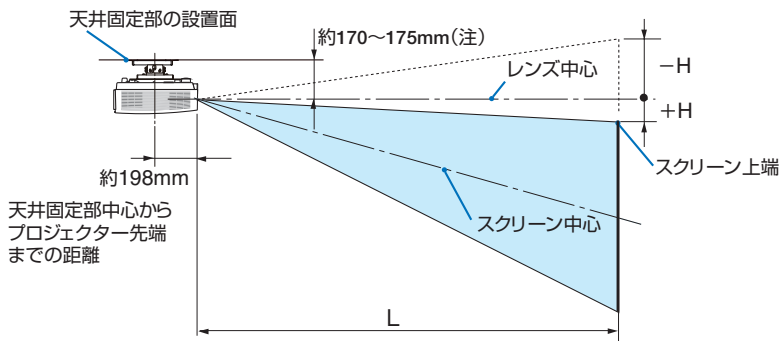
垂直方向の調整範囲：上方向  $0.59 \times 201.9\text{cm} \approx 119\text{cm}$ 、投写画面を移動することができます(レンズが中心位置の場合)。

水平方向の調整範囲：左方向  $0.28 \times 323.1\text{cm} \approx 90\text{cm}$ 、右方向も同様に約 90cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

- 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について  
 投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップの例と同じです。  
 レンズシフトについては [137 ページ](#)をご覧ください。  
 天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は [146 ページ](#)をご覧ください。

(注)天井固定部設置面からレンズ中心までの高さ  
 レンズシフト位置により高さは可変  
 (プロジェクター取付けアダプタの上下角度0°時)



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

# 対応解像度一覧

## アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768 <sup>*1</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*1</sup>	16 : 10	60
	1360 × 768 <sup>*2</sup>	16 : 9 <sup>*3</sup>	60
	1366 × 768 <sup>*2</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 <sup>*2</sup>	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*3</sup>	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080 <sup>*4</sup>	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*5</sup>	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

## HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768 <sup>*1</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*1</sup>	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HDTV(1080p)	1920 × 1080 <sup>*4</sup>	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポジット ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

## 3D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
コンピュータ			
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/120 <sup>*6</sup>
HD	1280 × 720	16 : 9	60/120 <sup>*6</sup>
WXGA	1280 × 800	16 : 10	60/120 <sup>*6</sup>
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
ビデオ			
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60

## HDMI 3D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
フレームパッキング			
720p	1280 × 720	16 : 9	50/59.94/60
1080p	1920 × 1080	16 : 9	23.98/24
サイドバイサイド (Half)			
1080i	1920 × 1080	16 : 9	50/59.94/60
トップアンドボトム			
720p	1280 × 720	16 : 9	50/59.94/60
1080p	1920 × 1080	16 : 9	23.98/24

\*1: NP-P502WLJD ではリアル表示

\*2: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

\*3: WXGA モードオフ時。

\*4: NP-P502HLJD ではリアル表示

\*5: WXGA モードオン時。

\*6: 120Hz 信号はフレームシーケンシャル選択時のみ対応しています。

- ・ 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- ・ アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色かにじんだりする場合があります。
- ・ 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

# 仕様

型名		NP-P502HLJD		NP-P502WLJD		
方式		1 チップ DLP 方式				
主要 部 品 仕 様	DMD パネル	サイズ	0.65 型、アスペクト比 16:9		0.65 型、アスペクト比 16:10	
		画素数 <sup>(*)1</sup>	2,073,600 画素(1920ドット×1080 ライン)		1,024,000 画素(1280ドット×800 ライン)	
	投写レンズ	F=2.0、f=18.2～31.1mm				
		ズーム	マニュアル (ズーム比 1.7 倍)			
		フォーカス	マニュアル			
		レンズシフト	水平 : ± 25% 垂直 : + 62% , - 0%		水平 : ± 28% 垂直 : + 59% , - 0%	
	光源	レーザーダイオード				
光学装置	カラーフィルタ回転による色分離					
明るさ <sup>(*)2</sup> <sup>(*)3</sup>		5000lm				
コントラスト比 <sup>(*)2</sup> (全白/全黒)		15,000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)				
画面サイズ (投写距離)		30～300 型 (0.8～14.2m)		30～300 型 (0.8～14.5m)		
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)				
音声出力		20W モノラルスピーカ内蔵				
走査周波数	水平	15kHz、24～100kHz (RGB 入力は 24kHz 以上)				
	垂直	50～120Hz				
主な調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、マニュアルレンズシフト、入力信号切替 (HDMI 1/HDMI 2/ コンピュータ/ビデオ/HDBaseT/APPS)、画像自動調整、画面拡大、ミュート (映像)、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示/選択など				
最大表示解像度 (横×縦)		1920 × 1200 (アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応)				
入 力 信 号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性				
		H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性				
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω				
	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75 Ω (with Negative Polarity Sync)				
		Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω				
		DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz)				
DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)						
音声		0.5Vrms / 22k Ω以上				
入 出 力 端 子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1			
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1			
		音声入力	ステレオミニジャック× 1			
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)			
	HDMI	映像入力	HDMI <sup>®</sup> タイプ A × 2 (DeepColor、LipSync、3D) HDCP 対応 <sup>(*)4</sup>			
		音声入力	HDMI <sup>®</sup> (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48kHz)			
	HDBaseT	映像入力	Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 <sup>(*)4</sup> 、3D 対応			
音声入力		サンプリング周波数 32/44.1/48kHz サンプリングビット 16/20/24bit				

型名		NP-P502HLJD	NP-P502WLJD
入出力端子	PC コントロール端子		D-Sub 9ピン×1
	USB ポート		USB タイプ A × 1
	Ethernet/HDBaseT ポート		RJ-45 × 1、BASE-TX 対応
	LAN ポート		RJ-45 × 1、BASE-TX 対応
	無線 LAN 用 USB ポート		USB タイプ A × 1
	3DSync 出力端子		5V/10mA、3D 用同期信号出力
使用環境			動作温度 : 5 ~ 40℃ <sup>(※5)</sup> 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 50℃ 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 : 0 ~ 2600m (1700 ~ 2600m はファンモード「高速」)
電源			AC 100V 50/60Hz <sup>(※6)</sup>
消費電力 (数値は 基準値)	エコ モード	オフ時	464W
		エコ 1 時	362W
		エコ 2 時	236W
	スタン バイ モード	ノーマル時	0.15W
		ネットワーク スタンバイ時	2.1W
定格入力電流			5.7A
外形寸法			469 (幅) × 137 (高) × 365 (奥行) mm (突起部含まず) 469 (幅) × 157 (高) × 370 (奥行) mm (突起部含む)
質量			8.7kg

(※ 1) : 有効画素数は 99.99% です。

(※ 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(※ 3) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。  
エコモードを「エコ 1」または「エコ 2」にすると明るさが低下します (エコ 1 : 約 80%、エコ 2 : 約 50%)。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(※ 4) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 入力端子、HDBaseT ポートを装備しています。

本機の HDMI 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync

音声 : LPCM; チャンネル数 : 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48KHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(※ 5) : 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。

(※ 6) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●無線 LAN ユニットの仕様

仕様	
動作電源電圧	5V (プロジェクター本体から供給)
消費電流 (最大)	500 mA
ホストインターフェイス	USB 2.0 (プロジェクター本体の無線 LAN ユニット専用ポートで使用)
外形寸法	28 (幅) × 11 (高さ) × 81 (奥行) mm (キャップを含む)
質量	22g (キャップを含む)
使用環境	動作温度: 5 ~ 40℃ 動作湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度: -10 ~ 50℃ 保存湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)

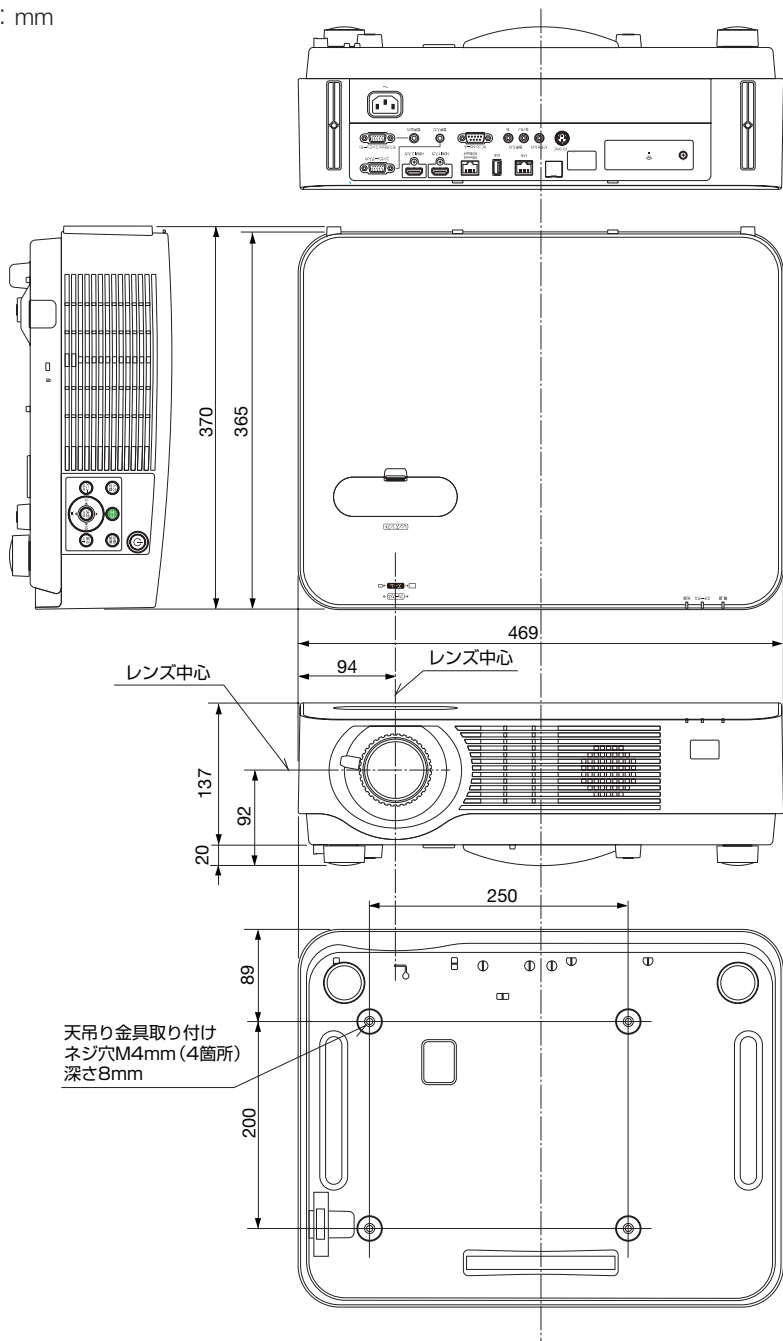
対応規格	
無線インターフェイス	チャンネル (周波数帯域) …中心周波数
IEEE802.11b	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
IEEE802.11g	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
IEEE802.11a	36/40/44/48 チャンネル (5180 ~ 5240 MHz)
	52/56/60/64 チャンネル (5260 ~ 5320 MHz)
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル (5500 ~ 5700 MHz)
IEEE802.11n	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
	36/40/44/48 チャンネル (5180 ~ 5240 MHz)
	52/56/60/64 チャンネル (5260 ~ 5320 MHz)
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル (5500 ~ 5700 MHz)

\* ご利用環境により、デュアルチャンネル通信無効/有効モードが自動で切り替わります。



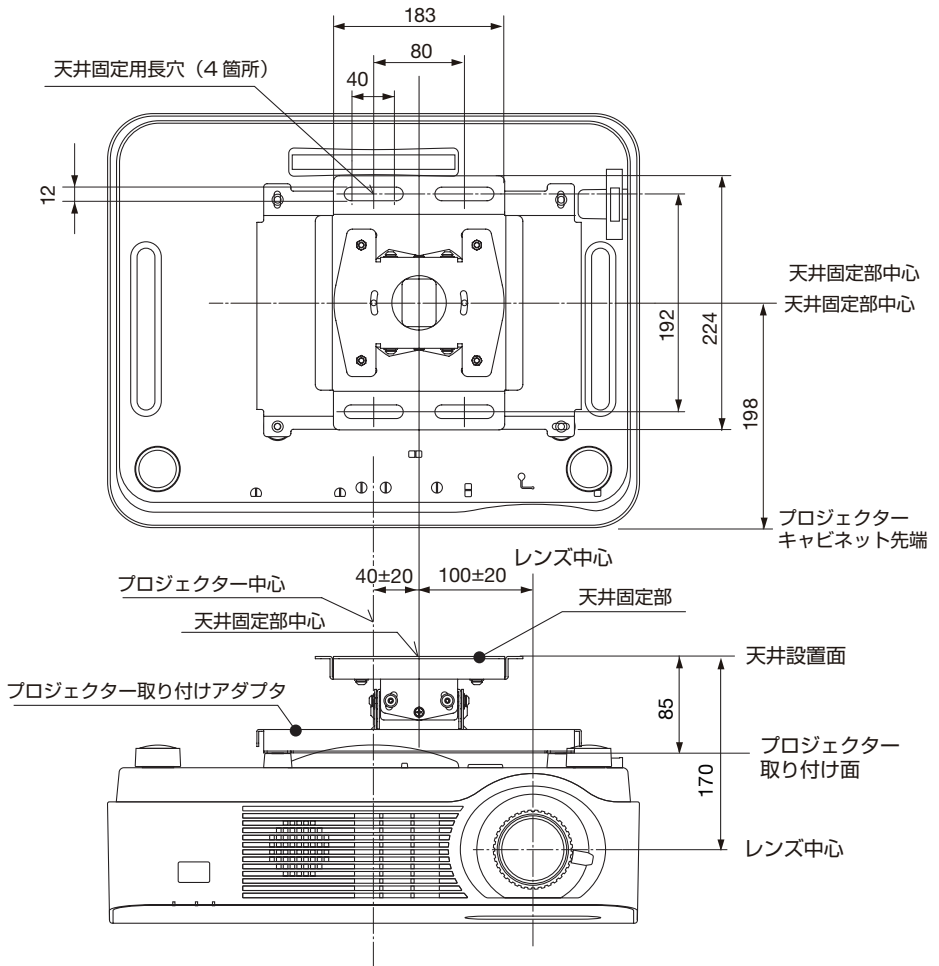
# 外觀図

単位：mm



# 天吊り金具（別売）取り付け図

## 天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

# ケーブルカバー（別売）の取り付けかた

別売のケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。

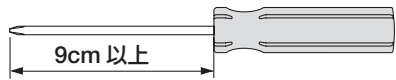


## 警告

- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。確実に固定されていないと、ケーブルカバーが外れてけがをするおそれがあります。また、落下してケーブルカバーが破損する原因となります。
- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーを持つての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

## 取り付けかた

- 準備：1. 図の部分の長さが9cm以上のプラスドライバーを用意してください。
2. 電源コードやケーブル類を本機と接続してください（図は接続線を省略しています）。



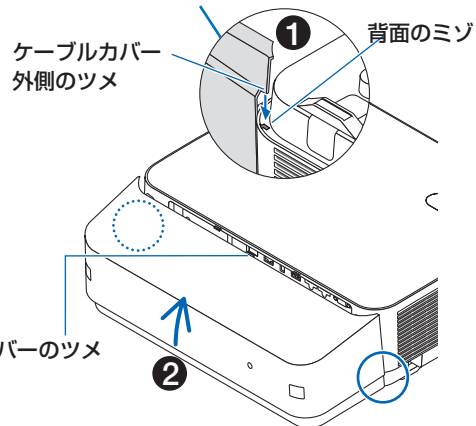
※この図は下から見ています。

### 1 ケーブルカバーの外側のツメ2箇所を本体のミゾに入れて合わせる。

- ・ ケーブルカバーのツメ1箇所も本体のミゾに入ります。

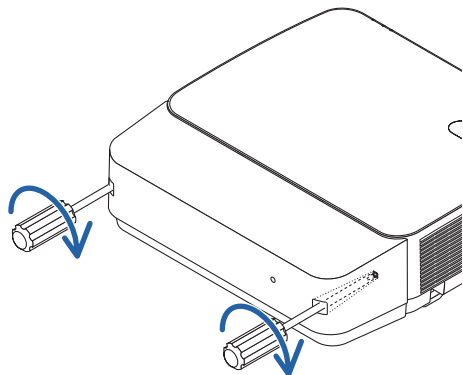


- 電源コードやケーブル類をケーブルカバーではさまないようにしてください。



### 2 ケーブルカバーのネジ2箇所を右に回してしめる。

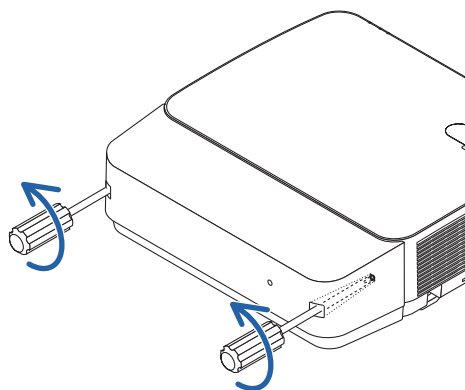
- ・ ネジは確実にしめてください。



## 取り外しかた

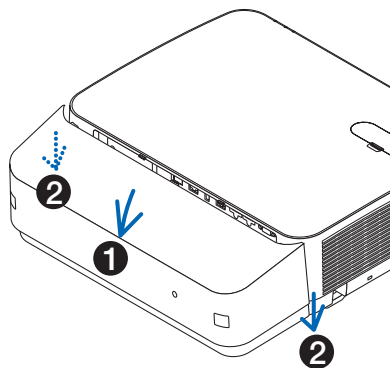
### 1 ケーブルカバーのネジ（左右） を空転するまで左にゆるめる。

- 天吊り設置しているときは、ケーブルカバーが落下しないように手を添えて行います。
- ネジは外れません。



### 2 ケーブルカバーを外します。

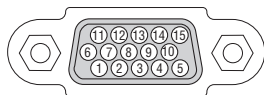
- 1 下へ少し回転すると中心のツメが本体のミゾから外れます。
- 2 下へずらすと外側のツメが本体のミゾから外れます。



# 主な端子のピン配列と信号名

## ● コンピュータ映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

各ピンの接続と信号レベル



### 信号レベル

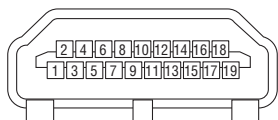
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）  
同期信号：TTL レベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	Hotplug	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンボジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

### 参考

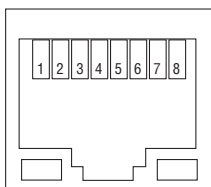
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

## ● HDMI IN 1/2 端子（タイプ A）



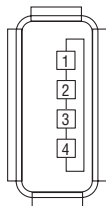
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロッカー シールド
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		

## ● Ethernet/HDBaseT ポート／LAN ポート (RJ-45)



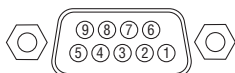
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

## ● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	V <sub>BUS</sub>
2	D -
3	D +
4	接地

## ● PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	29
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	157
	標高約 1700m 以上の高地で本機を使用していませんか。高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高速」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高速」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	80
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	44
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン(時間を選択)」にしていますか。	74 83
	映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	88 ~ 96
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	68
	(AVミュート) ボタンが押されていませんか。	46
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピュータの解像度を確認してください。	140
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	42
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、154 ページをご覧ください。	—

映像が出ない	HDMI IN 端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピュータに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピュータ、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS232C が対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	61
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	87
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	50
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高速」に設定してください。	80
映像が歪む	正しく設置されていますか。	35
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	40
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	38
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	35
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	133
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか	137
	レンズなどが結露していませんか 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号 (RGB) の場合、(自動調整) ボタンを押してください。	42
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	49
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	69
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	140



コンピュータ信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	42 68
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	26
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	26
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	27
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	26
	別売のケーブルカバーを取り付けているときは後面のリモコン受光部は受信できません。	—
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	79
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	156 157
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	44

## コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。


#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。  
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(86 ページ)

### ●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。  
[Fn]キーを押したまま（）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。  
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

#### 【コンピュータメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

## ● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

## ● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

## ● MacBook と本機を同時に表示させる場合

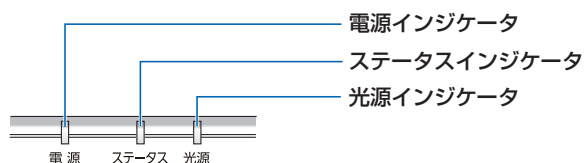
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

## ● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

# インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



## ●電源インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源が切れている（電源コードが接続されていない）	—
点滅	青色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	青色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態） プログラムタイマー（オフ時刻有効状態）	—
	オレンジ色（短い点滅）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色（長い点滅）	プログラムタイマー（オン時刻有効状態）	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ノーマル」）	—

## ●ステータスインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはスタンバイ状態	—
点滅	赤色（2回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。 (●次ページ)
	赤色（3回周期）	電源異常	電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（4回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（6回周期）	光源異常	NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。

次ページへ続く

点滅	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。 注：スタンバイ状態では、ネットワークが競合しても、本機のステータスインジケータはオレンジ色に点滅しません。
点灯	緑色	スリープ状態*	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 77 ページ) コントロール ID を確認してください。(🔗 79 ページ)

\*スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。

## ●光源インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはエコモード「オフ」時	—
点灯	緑色	エコモード「エコ1、エコ2」時	—

## ●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、ステータスインジケータが点滅します（2回点滅の繰り返し）。

同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 132 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

# 本機内部のソフトウェアのアップデートを行う

コンピュータのウェブブラウザを使って、弊社のダウンロードページから本機用のアップデートファイルをダウンロードし、有線 LAN を経由して本機（以降「プロジェクター」と記載します）のソフトウェアアップデートができます。

## 注意

- ソフトウェアアップデートが対応しているウェブブラウザは、Internet Explorer 11 です。
- ソフトウェアアップデートを実行する際は、プロジェクターとコンピュータを必ず LAN ケーブルで接続してください。無線 LAN 接続には対応していません。
- 必ずプロジェクターのスタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定してください。プロジェクターの工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。  
([82 ページ](#))
- ソフトウェアアップデートはプロジェクターがスタンバイ状態のときのみ行えます。アップデート中はプロジェクターの電源を入れないでください。また、AC 電源を切らないでください。
- アップデート中は、ウェブブラウザのページ更新を行わないでください。ページが正常に表示されなくなります。

## 1 コンピュータのウェブブラウザを使って、弊社のダウンロードページにアクセスする。

- ・ URL : <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## 2 ご使用中のプロジェクターのソフトウェアがアップデートされているかを確認する。

- ・ オンスクリーンメニューの「情報」→「VERSION (1)」および「VERSION (2)」の画面でプロジェクターのソフトウェアのバージョンを確認できます。

## 3 プロジェクターのソフトウェアがアップデートされていれば、アップデートファイルをダウンロードし、コンピュータの任意のフォルダに保存する。

## 4 プロジェクターの電源を切り、スタンバイ状態にする。

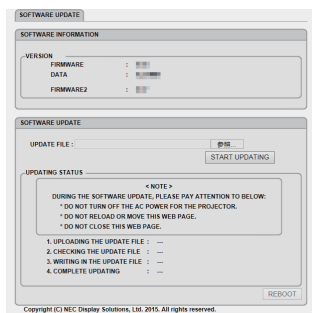
### 重要

- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき、ソフトウェアアップデートは行えません。

## 5 プロジェクターとコンピュータを LAN ケーブルで接続する。

## 6 コンピュータでウェブブラウザを起動し、次の URL を入力する。

- ・ アップデート用 URL : <http://> プロジェクターの IP アドレス /update.html  
SOFTWARE UPDATE 画面が表示されます。



**7** 画面中央の（参照）をクリックし、手順**3**で保存したアップデートファイルを選択する。

・UPDATE FILE 欄に表示されたファイル名を確認してください。

**8** 画面中央の（START UPDATING）をクリックする。

画面が変わり、ソフトウェアのアップデートが開始されます。

**注意**

- アップデート中は次の点に注意してください。
- プロジェクターの AC 電源を切らないでください。
- ウェブブラウザのリロードやページ切り替えを行わないでください。
- ウェブブラウザを閉じないでください。

● **アップデートが正常に終了すると、次の表示になります。**

1. UPLOADING THE UPDATE FILE : COMPLETED
2. CHECKING THE UPDATE FILE : COMPLETED
3. WRITING IN THE UPDATE FILE : COMPLETED
4. COMPLETE UPDATING : PLEASE REBOOT.

**9** 画面右下の（REBOOT）をクリックする。

アップデートが終了し、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

**参考**

.....

- アップデート中にエラーが発生すると「UPDATING STATUS」欄に以下のようなエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラー内容
2001	ファイルのアップロードに失敗しました。
2007	アップロードしたファイルのサイズが大きすぎます。
2011	アップロードしたファイルが壊れています。
2012	アップロードしたファイルが壊れています。
4001	HTTP 通信の応答がありません。

上記のエラーコード以外のコードも表示される場合があります。ソフトウェアのアップデートがエラーになった場合は、プロジェクターの電源を入れなおし、再度アップデートを行ってください。

何度行ってもアップデートが正常に終了しないときは、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

.....

# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度  常時  時々 (  回中  回 )  その他( )

## 電源関係 .....

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ⑤ ボタンを押しても電源が入らない。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。</li></ul> |
|---|--|

## 映像・音声関係 .....

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。<br/>Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピュータによって異なります)。</li></ul>  | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。</li></ul>   |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整)ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。<br/>( )</li><li><input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。</li><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整)ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。</li><li><input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。</li><li><input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。</li></ul> |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li></ul>   | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整)ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。</li><li><input type="checkbox"/> ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。</li></ul>   |
|   | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。  |
|   | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。</li></ul>   |

## その他 .....

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。</li><li><input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。</li><li><input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。<br>本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> 本体の(入力切替)ボタンを10秒以上押してもなおらない。</li></ul> |
|---|--|



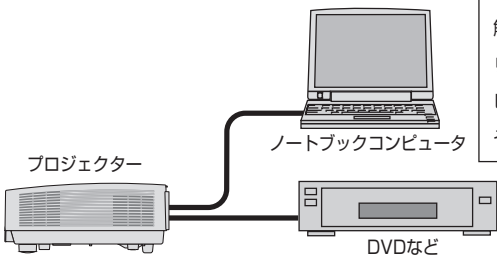
症状を具体的に記入してください。

### 使用状況・環境

**プロジェクター**  
型名:  NP-P502HLJD  NP-P502WLJD  
製造番号:  
購入時期:  
ライト使用時間:  
エコモード:  オフ  エコ1  
 エコ2  
入力信号情報:  
水平同期周波数 [kHz]  
垂直同期周波数 [Hz]  
同期極性 H  (+)  (-)  
V  (+)  (-)  
同期形態  セパレート  ミックス  
 Gシンク  
ステータスインジケータの状態  
点灯 (オレンジ・緑)  
点滅 ( 回周期)

**設置環境**  
スクリーンサイズ: 型  
タイプ:  ホワイトマット  ビーズ  偏光  
 広視野角  ハイコントラスト  
投写距離: m  
投写方法:  天吊り  床置き  
電源コンセントは?  
 壁からのコンセントを直接利用している。  
 電源用テーブルタップを利用している。  
(他、接続機器の数: 台)  
 電源ドラム (ロール式) を利用している。  
(他、接続機器の数: 台)

**コンピュータ**  
メーカー:  
型名:  
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型  
解像度:  
リフレッシュレート:  
ビデオボード:  
その他:



**信号ケーブル**  
純正・その他 (型名: 長さ: m)  
分配器 型名:  
スイッチャ 型名:  
アダプタ 型名:

**接続機器**  
ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他  
メーカー:  
型名:

# 索引

## 数字／アルファベット

3D	84
3D 映像	53
3D エミッタ	55
3D 視聴注意メッセージ	75
3D メガネ	84
3D モード	84
AC IN 端子	21
APPS	65, 105
APPS メニュー	105
AV ミュート	46
GCT (Geometric Correction)	116
HDBaseT	101
HDCP	143
HDMI 設定	81
ID 表示	74
IMAGE EXPRESS UTILITY	106, 107, 108
Image Express Utility Lite	109, 110
Image Express Utility Lite for Mac	109, 110
L/R反転	85
MAC アドレス	86
Miracast	107
NEC Projector CD-ROM	19
PC Control Utility Pro 4	109
PC Control Utility Pro 4/Pro 5	119
PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	109
SSID	86
Virtual Remote Tool	109, 124
WEB シェアリング	107
WEB サーバ機能	107
Wireless Image Utility	130
Wireless Image Utility (Android / iOS)	109
WXGA モード	80

## 五十音

<b>【ア行】</b>	
明るさ	68
アスペクト	70
アドバンストメニュー	61
位相	68
インジケータ表示	156
映像	66

液晶シャッターメガネ	53
エコモード	48, 73
オートパワーオフ	83
オートパワーオン	83
オーバースキャン	69
オプション (1)	80
オプション (2)	82
オフタイマー	74
オンスクリーンメニュー	57, 61
音声入力選択	81
音量	43

## 【カ行】

カーボンメータ	49
解像度	140
画像設定	68
壁色補正	72
カラー	68
ガンマ補正	67
管理者モード	108
輝度一定モード	73
キャビネット	132
クローズドキャプション	73
クロック周波数	68
ゲートウェイ	86
ケーブルカバー	147
言語	74
光源インジケータ	22, 157
コントラスト	68
コントロール ID	79
コンピュータケーブル	18

## 【サ行】

サブネットマスク	86
参照	66
色相	68
自動調整	42
シャープネス	68
省エネ	48
詳細設定	66
情報	86
初期入力選択	84
シリアルポート	78
垂直 (画像設定)	69
水平 (画像設定)	69

垂直（台形歪み）	40
水平（台形歪み）	40
ズームレバー	38
スクリーンサイズ（投写距離）	133
スタンバイモード	82
ステータスインジケータ	22, 156
ストラップ	18, 20
スピーカ	20, 43
静止	46
セキュリティ	50, 77
セキュリティバー	21
接続端子部	21, 23
設置	76
セットアップ	72
全データ（リセット）	87
全般	72
総 CO2 削減量	49, 86
ソフトウェアのアップデート	158
<b>【タ行】</b>	
台形歪み	40
台形補正	40, 72
台形補正值	41
ダイレクトパワーオン	83
ダウンロードサービス	109
調整	66
調整（ライトモード）	73
チルトフット	39
通信速度	77
ツール	74, 108
テストパターン	80
デフォルト APP	108
電源	30, 44
電源インジケータ	22
電源コード	4, 18, 29
添付ソフトウェア	109
投写距離	133
投写方法	76
盗難防止用ロック	21
<b>【ナ行】</b>	
入力信号	32
入力端子	65
入力端子表示	74
ネットワークサービス	108
ネットワーク情報	108
ネットワーク設定	80, 107

<b>【ハ行】</b>	
バックグラウンド	75
パワーマネージメント機能	10
ビーブ音	81
日付と時刻設定	108
ビューフ	106
表示時間	74
表示色選択	74
表示中の信号（リセット）	87
ファンモード	80
フォーカスリング	20, 38
フォーマット（3D）	85
部分拡大	47
プリセット	66
プログラムタイマー	108
プロジェクターコントロール	107
プロジェクター名	86, 107
ベーシックメニュー	61
ポートレート	103
本体キーロック	77
本体操作部	21, 22
<b>【マ行】</b>	
マウス設定	108
無線 LAN	86, 98, 108
無線 LAN ユニット	11, 99
メニュー設定	74
<b>【ヤ行】</b>	
有線 LAN	86, 97, 108
<b>【ラ行】</b>	
ライト使用時間	86
ライトモード	73
リセット	87
リセット（映像）	68
リモートデスクトップ接続	106
リモコン	18, 24, 26
リモコン受光部	20, 21
リモコン受光部設定	78
レンズ	131
レンズキャップ	18, 30, 44
レンズキャップ用ストラップ	18, 20
レンズシフト	36, 137
レンズシフトカバー	36
レンズシフトダイヤル	36, 37
レンズシフト範囲	137
ロゴ	75

# 別売品／商標について

## ●別売品

商 品 名		型 名
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP14CM
ケーブルカバー		NP08CV

その他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

## ●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、GeometricCorrection、Virtual Remote は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、iMac、Mac OS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing) はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ HDBaseT は、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct®、Miracast™は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Google Play、Android は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

## ●本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。

# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（▶151 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（▶160, 161 ページ）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
形名	NP-P502HLJD/NP-P502WLJD
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎ ( ) -
-------	---------	---------

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

- 技術料  
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- +
- 部品代  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- +
- 引取費用  
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがご受け  
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

**受付時間** 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)

通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

**ホームページ** <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許  
可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセン  
ターにお問い合わせください。